

玉城町保健福祉会館 空調設備改修工事

[illegible]

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

玉城町保健福祉会館空調設備改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

三重県度会郡玉城町講田4876番1

2 敷地面積

—

3 工事内容

棟名称

玉城町保健福祉会館

構造

鉄筋コンクリート造

建築面積

—

延べ面積

2,052.00㎡

工事項目

本工事は空調設備工事及び付随する建築、電気設備工事を行うものとする

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																					
① 一般共通事項	① 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成31年版） 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）																					
	② 施工条件 (1.3.5)	③ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 指定有り（打合せ） 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時～時 ・ 指定有り（打合せ） 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ④ 適用しない																					
	3 部分引渡し、部分使用	・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時 期（平成 年 月 日～ ）																					
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり																					
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.12)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 <table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他（ ）</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table> ・ 引き渡しを要するもの ・ 有（ ） ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有（ ・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ （ ）） ・ 現場において再利用を図るもの ・ （ ） ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
	造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
	成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。																						
⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																						
⑦ 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。																						
⑧ 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する																						
⑨ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。																						
10 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																						
11 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																						

1 2 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。

3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。

4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。

5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

6) 下配製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
(認定製品の品名：)

7) 下配製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。
認定製品の品名： ・ 間伐材製工事用バリエード ・ 間伐材工事用看板 ・ 間伐材構示板 ・ （ ）

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数
・ 図示（図面番号： ）
・ （ ）

測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）

測定時期
・ （ ）

報告書提出部数
2 部

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領(国土交通大臣官庁官庁営繕部（平成31年版）)に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営第211号）」による。

作成する（ ・ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ））
完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

デジタルカメラで撮影し、全てし版相当サイズで印刷する。（A 4 版用紙に1 ページあたり3 枚）1 部
箇所数は外観4 面各室2 面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
① アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 3 部

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
(提出部数 ③ 3 部 ・ 2 部)
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
(提出部数 ③ 3 部 ・ 2 部)

施工範囲
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図
・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

本工における下請の次数は、2 次（建築一式工事は3 次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
本工において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2 次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1 割を減点します。

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2 条第1 項第1 4 号）を受けた場合の措置について
1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2 条第1 項第1 2 号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

1) 技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
2) 専任を要しない期間
(1) 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
(2) 検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が

② 9 工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県県土整備部）による。
三重県建設工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

② 9 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1 項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2 項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

3 0 建築基準法に基づく指定する

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V=34 m/s
地表面度区分（ ・ II ・ III）
積雪区分（ 30 ）cm

③ 1 火災保険等

三重県建設工事請負契約書5 2 条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に参加し、その加入証券等を提示しなければならない。
1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間
3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

③ 2 不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

3 3 技術検査

中間技術検査
実施回数 ・ 回
実施する段階 ・ （ ）

③ 4 保全に関する資料

・ 2 部 ・ （ ）

3 5 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第2 3 条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

③ 6 社会保険等未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

③ 7 現場での安全確保(自主施工原則)

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
設計図面に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、指示者として適切な安全確保の措置を講じようとして、工事を実施すること。

③ 8 電子メールの活用

「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月」を適用する。
(三重県H P「三重県の公共事業情報」を参照)

③ 9 設計図書の照査

三重県公共工事共通仕様書第1編1-1-1-3-2 設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策
(2.1.3)

・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）

② 足場
(2.2.1)

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

外部足場
・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
防護シート
・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
内部足場
・ 設置する（ ・ ） ・ 設置しない

(表2.2.1)

材料、撤去材等の運搬方法
種類（ ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ）
C 種：利用可能なエレベーター（ ）
D 種：利用可能な階段（ ）

3 既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存ブランド・カーテンの養生
養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ （ ）
固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない

④ 仮設間仕切り
(2.3.2)
(表2.3.1)

屋内の仮設間仕切り
・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
合板 厚さ ・ 9 mm ・ （ ）
せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない
仮設扉
・ 図示（図面番号： A-15 ）
仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ （ ）

⑤ 監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する（場所、備品等は打合せによる）
監督員事務所の規模(単位:m)

適用	○				
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り

6 監督員事務所の設備、備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	個	組	台	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

設計年月日

承認

検図

P & D

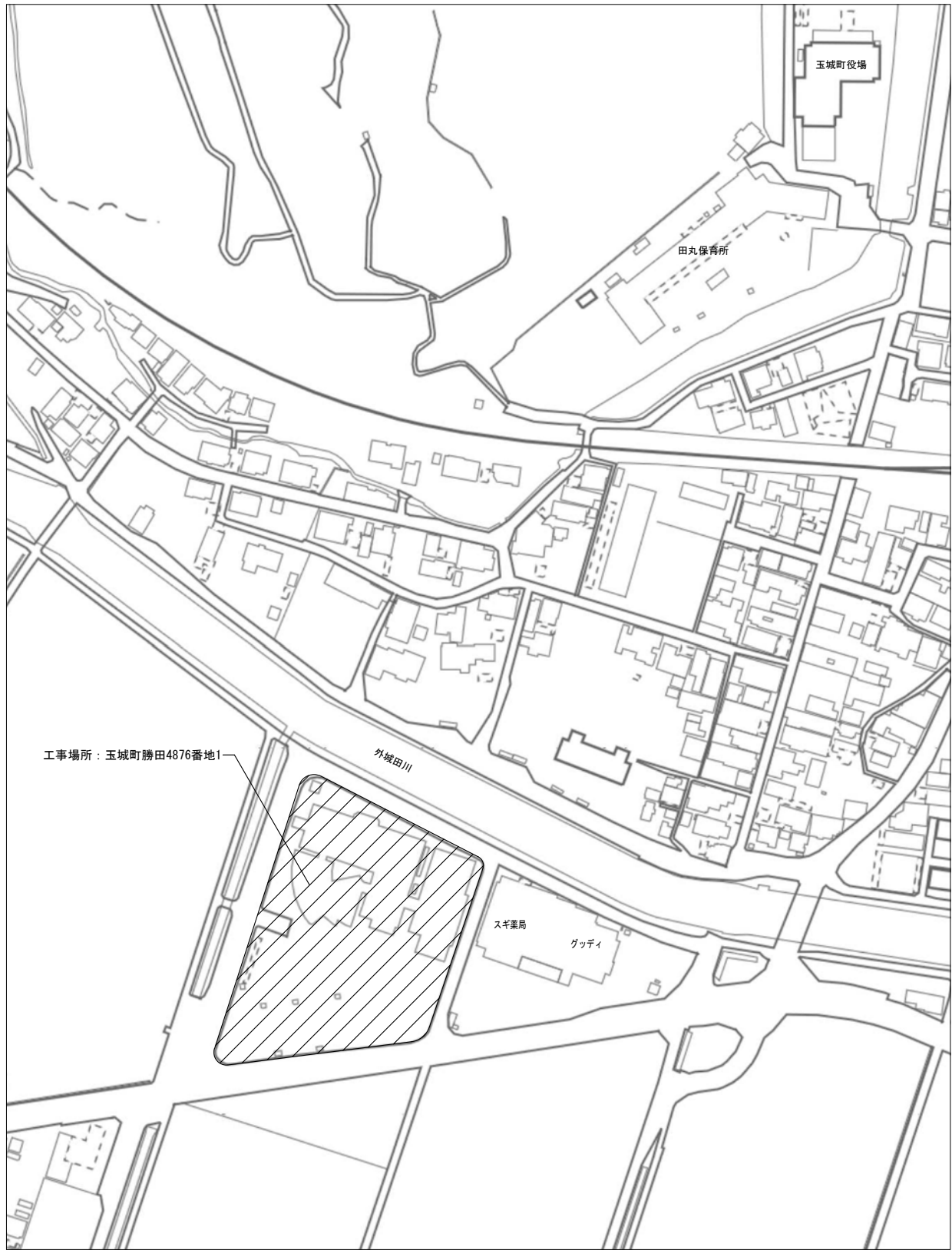
工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事

図面名称：工事特記仕様書（改修） 1 SCALE N/S

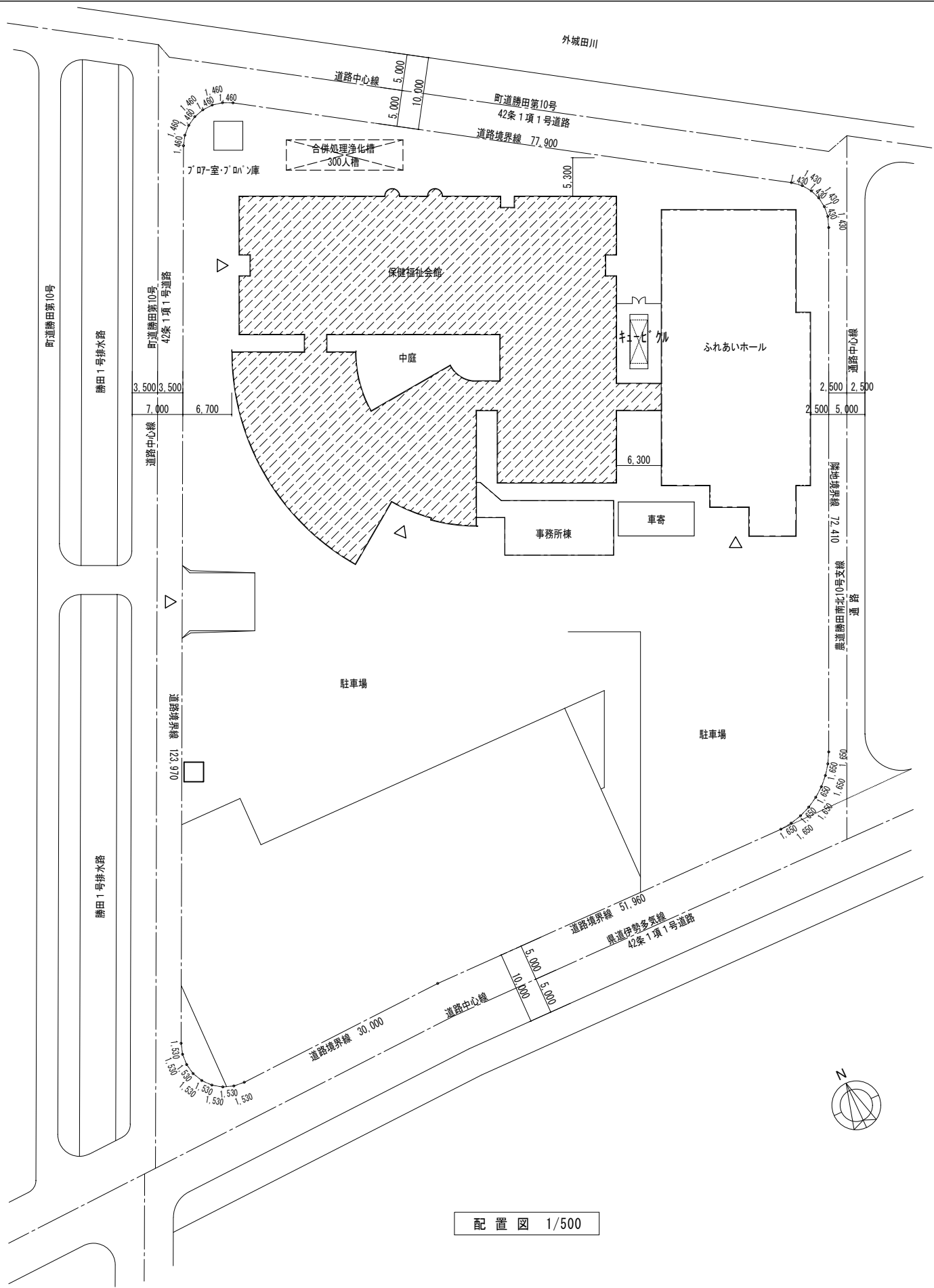
A-01

A2→A3縮小 71%

	<div>(6.8.2)(3)④(Ⅱ)</div> <div><div><div>・<div>防滑性床シート又は床タイル</div><table><tr><th>種類</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>超防汚性ビニル床シート</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.8.2)(5)</div> <div><div><div>・<div>ゴム床タイル</div><table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.8.3)(1)</div> <div><div>工法</div><div><div>下地</div><div>・モルタル塗り</div><div>・セルフレベリング材塗り</div><div>・木下地</div><div>・その他（ ）</div></div></div> <div>(6.8.3)(2)④(Ⅱ)</div> <div><div><div>ビニル床シート張り</div><div>熱溶接工法</div><div>・適用する</div><div>・適用しない</div></div></div> <div>8カーベット敷き</div> <div>(6.9.3)(1)<div>(表6.9.1)</div></div> <div><div><div>・<div>織じゅうたん</div><table><tr><th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr><tr><td>・A種</td><td>・羊毛</td><td>・カットパイル</td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td>・（ ）</td><td>・無地</td></tr><tr><td>・B種</td><td>・紡糸</td><td>・ルーブパイル</td><td></td><td></td><td>・柄物</td></tr><tr><td>・C種</td><td>・（ ）</td><td>・カット、ルーブ併用</td><td>・（ ）</td><td></td><td></td></tr></table></div><div>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）</div></div></div> <div>(6.9.2)(2)<div>(表6.9.2)</div></div> <div><div><div>・<div>タフテッドカーベット</div><table><tr><th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td>・カットパイル</td><td></td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td>・全面接着工法</td><td></td></tr><tr><td>・ルーブパイル</td><td></td><td></td><td>・グリッパー工法</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・カット、ルーブ併用</td><td></td><td>・（ ）</td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(3)</div> <div><div><div>・<div>ニードルパンチカーベット</div><table><tr><th>厚さ(mm)</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・（ ）</td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(4)<div>(表6.9.2)</div></div> <div><div><div>・<div>タイルカーベット</div><table><tr><th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td></td><td>・カットパイル</td><td>・500×500</td><td>・6.5</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ルーブパイル</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(5)</div> <div><div><div>下敷き材</div><div>・第2種第2号、厚さ8mm</div><div>・（ ）</div></div></div> <div>(6.9.2)(6)</div> <div><div><div>見切り、押え金物</div><div>・適用する（材質、種類及び形状</div><div>・図示（図面番号： ））</div></div></div> <div>(6.9.3)(3)</div> <div><div><div>織じゅうたんの接合方法</div><div>・ヒートボンド工法</div><div>・（ ）</div></div></div> <div>(6.9.3)(5)</div> <div><div><div>タイルカーベットの敷き方</div><table><tr><th>平場</th><td>・市松敷き</td><td>・模様流し</td><td>・（ ）</td></tr><tr><th>階段部分</th><td>・市松敷き</td><td>・模様流し</td><td>・（ ）</td></tr></table></div></div> <div>9合成樹脂塗床</div> <div>(6.10.3)(2)①(a)<div>(表6.10.4)</div></div> <div><div><div>弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程</div><div>・平滑仕上げ</div><div>・防滑仕上げ</div><div>・つや消し仕上げ</div></div></div> <div>(6.10.3)(2)①(b)<div>(6.10.3)(3)<div>(表6.10.5)～<div>(表6.10.8)</div></div></div></div> <div><div><div>エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類</div><div>・薄膜流しのべ仕上げ（ ・平滑 ・防滑）</div><div>・厚膜流しのべ仕上げ（ ・平滑 ・防滑）</div><div>・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑）</div><div>・薄膜型塗床仕上げ（ ・平滑）</div></div></div> <div>10フローリング張り</div> <div>(6.11.4)<div>(表6.11.2)</div></div> <div><div><div>・<div>釘留め工法</div><table><tr><th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr><tr><td>・フローリングボード （根太張用）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・複合フローリング （根太張用）</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td>・なら ・（ ）</td></tr></table></div><div>防湿処理</div><div>・図示（図面番号： ）</div></div></div> <div>(6.11.5)<div>(表6.11.5)<div>(表6.11.6)</div></div></div> <div><div><div>・<div>接着工法</div><table><tr><th>材種</th><th>樹種</th><th>厚さ</th><th>大きさ</th></tr><tr><td>・フローリングボード（直張用）</td><td rowspan="3">・なら ・（ ）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・フローリングブロック（直張用）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・複合フローリング（直張用）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・A種</td><td>・B種</td><td>・C種</td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>緩衝材</div> <div>・合成樹脂発泡シート</div> <div>・図示（図面番号： ）</div> <div>(6.11.6)(3)</div> <div><div><div>塗装</div><div>・ウレタン樹脂ワニス塗り（1液形、B種）</div><div>・オイルステイン塗りのうえワックス塗り</div><div>・生地のままワックス塗り</div></div></div> <div>・（ ）</div> <div>11畳敷き</div> <div>(6.12.2)<div>(表6.12.1)</div></div> <div><div><div>種別</div><div>・A種</div><div>・B種</div><div>・C種</div><div>・D種</div><div>・D種の畳床 K T - （ ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N ）</div></div></div> <div>①2せっこうボード、その他ボード及び合板張り</div> <div>(6.13.2)<div>(表6.13.1)</div></div> <div><div><div>材種</div><div>種別</div><div>厚さ(mm)</div></div><table><tr><td></td><td></td><td>壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)</td></tr><tr><td>○せっこうボード</td><td></td><td>天井 ○9.5(準不燃) ・12.5(不燃)</td></tr><tr><td>○化粧せっこうボード</td><td>○トラバーチン模様 ・木目模様</td><td>・9.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)</td></tr><tr><td>○ロックウール化粧吸音板</td><td>○普通</td><td>・9() ○12(不燃)</td></tr><tr><td>○けい酸カルシウム板</td><td>○立体模様</td><td>・9() ○12(不燃)</td></tr><tr><td></td><td>○タイプII 0.8FK</td><td>○6</td></tr></table></div> <div>(6.13.2)(3)④(Ⅲ)</div> <div><div><div>遮音シール材</div><div>・シーリング材</div><div>・ジョイントコンパウンド</div></div></div> <div>(6.13.3)(5)④(Ⅲ)</div> <div><div><div>合板類の張付け</div><div>・A種</div><div>・B種</div></div></div> <div>(6.13.3)(7)④(Ⅲ)<div>(表6.13.5)</div></div> <div><div><div>せっこうボードの目地工法</div><div>・継目処理 ○突付け</div><div>・目通し</div></div></div> <div>13壁紙張り</div> <div>(6.14.2)</div> <div><div><div>施工箇所</div><div>種類</div><div>防火性能</div></div><table><tr><td></td><td></td><td>・不燃</td><td>・準不燃</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・不燃</td><td>・準不燃</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・不燃</td><td>・準不燃</td></tr></table></div> <div>14モルタル塗り</div> <div>(6.15.3)<div>(6.15.5)<div>(6.15.6)</div></div></div> <div><div><div>モルタル</div><div>現場調合材料</div><div>既調合材料</div><div>既製目地材</div><div>・使用する（形状： ）</div><div>床の目地</div><div>・図示（図面番号： ）</div><div>下地処理</div><div>・壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超</div><div>・図示（図面番号： ）</div></div></div> <div>5～17分路</div> <div>7塗装改修工事</div> <div>①材料<div>(7.1.3)</div></div> <div>②下地調整<div>(7.2.1～7.2.7)<div>(表7.2.1)～<div>(表7.2.7)</div></div></div></div> <div><div><div>屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</div><div>・次の箇所を除き防火材料とする。〈箇所： 〉</div></div></div> <div><div><div>既存塗膜の除去範囲（塗り替えてR B種の場合）</div><div>・図示（図面番号： ）</div></div></div> <div><div><div>種別</div><div>ひび割れ部の補修</div></div><table><tr><th>下地</th><th>種別</th><th></th></tr><tr><td>・木部</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td></tr><tr><td>・鉄鋼面</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td></tr><tr><td>○垂鉛めっき鋼面</td><td>・RA種</td><td>○RB種</td><td>・RC種</td></tr><tr><td>・モルタル、プラスター面</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td><td>・行う</td></tr><tr><td>・コンクリート、ALCパネル面</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td><td>・行う</td></tr><tr><td>・コンクリート、押出成形セメント版面</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td><td>・行う</td></tr><tr><td>・せっこうボード、その他ボード面</td><td>・RA種</td><td>・RB種</td><td>・RC種</td><td></td></tr></table></div> <div><div><div>錆止め塗料種別</div><div>鉄鋼面</div><div>・A種</div><div>・B種</div></div></div> <div><div><div>垂鉛めっき鋼面</div><div>・A種</div><div>・B種</div><div>・C種</div></div></div> <div><div><div>錆止め塗料塗り種別</div><div>鉄鋼面</div><div>・A種</div><div>・B種</div><div>・C種</div></div></div> <div><div><div>垂鉛めっき鋼面</div><div>・A種</div><div>・B種</div><div>・C種</div></div></div> <div><div><div>塗料種別</div><div>・1種</div><div>・（ ）</div></div></div> <div><div><div>種別</div><div>下地</div><div>種別</div></div><table><tr><td>・木部</td><td>・A種</td><td>・B種</td><td>・C種</td></tr><tr><td>・鉄鋼面</td><td>・</td></tr></table></div>	種類	寸法	厚さ	備考	超防汚性ビニル床シート												種類	色柄	寸法	厚さ	備考																種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・A種	・羊毛	・カットパイル	・人体帯電圧 3KV以下	・（ ）	・無地	・B種	・紡糸	・ルーブパイル			・柄物	・C種	・（ ）	・カット、ルーブ併用	・（ ）			パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・カットパイル		・人体帯電圧 3KV以下	・全面接着工法		・ルーブパイル			・グリッパー工法	・（ ）	・カット、ルーブ併用		・（ ）			厚さ(mm)	帯電性	備考		・人体帯電圧 3KV以下			・（ ）		種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・カットパイル	・500×500	・6.5			・ルーブパイル	・（ ）	・（ ）	・（ ）	平場	・市松敷き	・模様流し	・（ ）	階段部分	・市松敷き	・模様流し	・（ ）	材料	種別	樹種	・フローリングボード （根太張用）			・複合フローリング （根太張用）	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・（ ）	材種	樹種	厚さ	大きさ	・フローリングボード（直張用）	・なら ・（ ）			・フローリングブロック（直張用）			・複合フローリング（直張用）			・A種	・B種	・C種				壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	○せっこうボード		天井 ○9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	○化粧せっこうボード	○トラバーチン模様 ・木目模様	・9.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)	○ロックウール化粧吸音板	○普通	・9() ○12(不燃)	○けい酸カルシウム板	○立体模様	・9() ○12(不燃)		○タイプII 0.8FK	○6			・不燃	・準不燃			・不燃	・準不燃			・不燃	・準不燃	下地	種別		・木部	・RA種	・RB種	・RC種	・鉄鋼面	・RA種	・RB種	・RC種	○垂鉛めっき鋼面	・RA種	○RB種	・RC種	・モルタル、プラスター面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う	・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う	・コンクリート、押出成形セメント版面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う	・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	・RB種	・RC種		・木部	・A種	・B種	・C種	・鉄鋼面	・
種類	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																
超防汚性ビニル床シート																																																																																																																																																																																																																			
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																															
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																																																																																																																																																																																																														
・A種	・羊毛	・カットパイル	・人体帯電圧 3KV以下	・（ ）	・無地																																																																																																																																																																																																														
・B種	・紡糸	・ルーブパイル			・柄物																																																																																																																																																																																																														
・C種	・（ ）	・カット、ルーブ併用	・（ ）																																																																																																																																																																																																																
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																																																																															
・カットパイル		・人体帯電圧 3KV以下	・全面接着工法																																																																																																																																																																																																																
・ルーブパイル			・グリッパー工法	・（ ）																																																																																																																																																																																																															
・カット、ルーブ併用		・（ ）																																																																																																																																																																																																																	
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																	
	・人体帯電圧 3KV以下																																																																																																																																																																																																																		
	・（ ）																																																																																																																																																																																																																		
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																																																																															
	・カットパイル	・500×500	・6.5																																																																																																																																																																																																																
	・ルーブパイル	・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																																																																																																																																																																															
平場	・市松敷き	・模様流し	・（ ）																																																																																																																																																																																																																
階段部分	・市松敷き	・模様流し	・（ ）																																																																																																																																																																																																																
材料	種別	樹種																																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード （根太張用）																																																																																																																																																																																																																			
・複合フローリング （根太張用）	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・（ ）																																																																																																																																																																																																																	
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																																																																																
・フローリングボード（直張用）	・なら ・（ ）																																																																																																																																																																																																																		
・フローリングブロック（直張用）																																																																																																																																																																																																																			
・複合フローリング（直張用）																																																																																																																																																																																																																			
・A種	・B種	・C種																																																																																																																																																																																																																	
		壁 ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																	
○せっこうボード		天井 ○9.5(準不燃) ・12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																	
○化粧せっこうボード	○トラバーチン模様 ・木目模様	・9.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																	
○ロックウール化粧吸音板	○普通	・9() ○12(不燃)																																																																																																																																																																																																																	
○けい酸カルシウム板	○立体模様	・9() ○12(不燃)																																																																																																																																																																																																																	
	○タイプII 0.8FK	○6																																																																																																																																																																																																																	
		・不燃	・準不燃																																																																																																																																																																																																																
		・不燃	・準不燃																																																																																																																																																																																																																
		・不燃	・準不燃																																																																																																																																																																																																																
下地	種別																																																																																																																																																																																																																		
・木部	・RA種	・RB種	・RC種																																																																																																																																																																																																																
・鉄鋼面	・RA種	・RB種	・RC種																																																																																																																																																																																																																
○垂鉛めっき鋼面	・RA種	○RB種	・RC種																																																																																																																																																																																																																
・モルタル、プラスター面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う																																																																																																																																																																																																															
・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う																																																																																																																																																																																																															
・コンクリート、押出成形セメント版面	・RA種	・RB種	・RC種	・行う																																																																																																																																																																																																															
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	・RB種	・RC種																																																																																																																																																																																																																
・木部	・A種	・B種	・C種																																																																																																																																																																																																																
・鉄鋼面	・																																																																																																																																																																																																																		

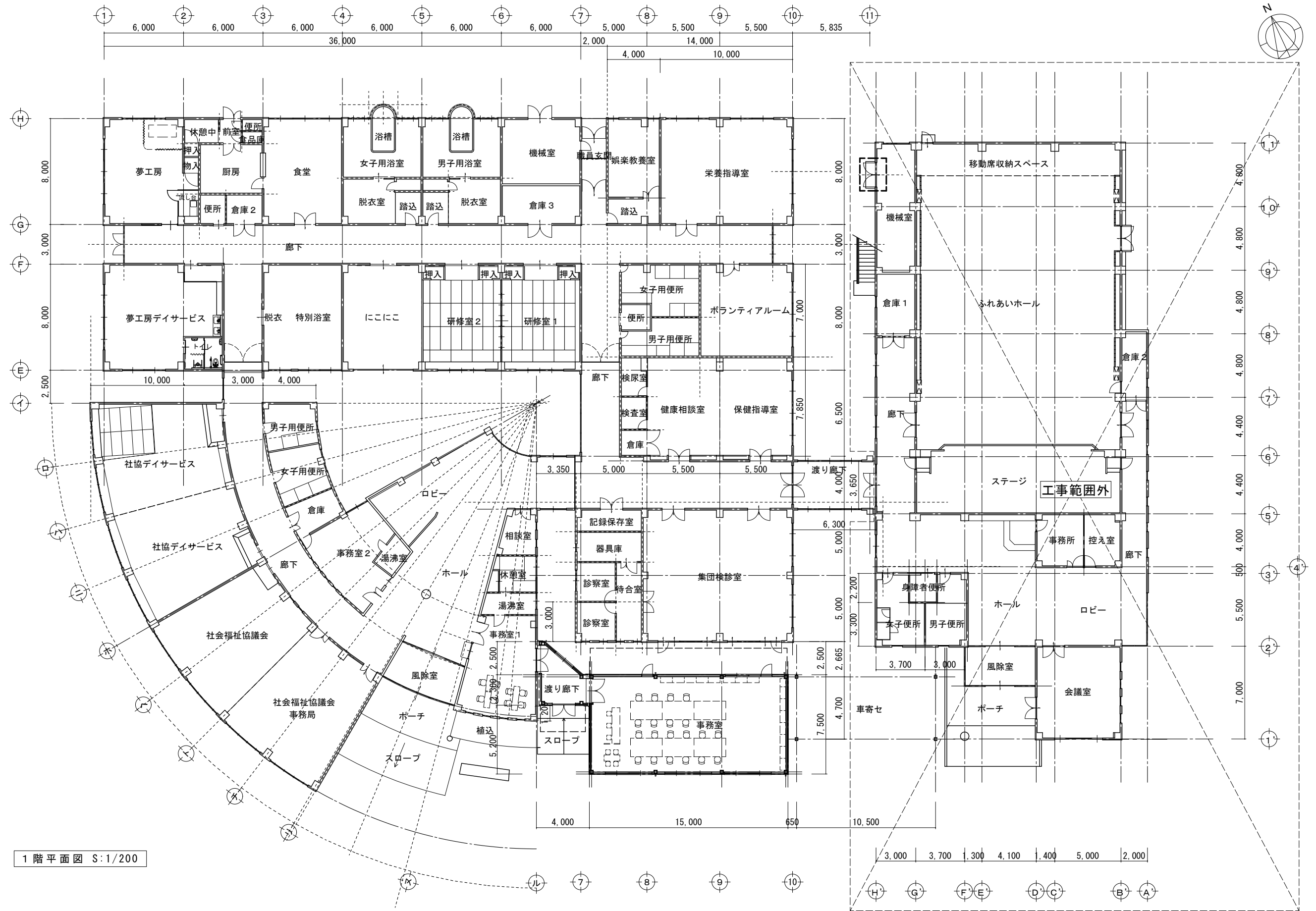


付 近 見 取 図



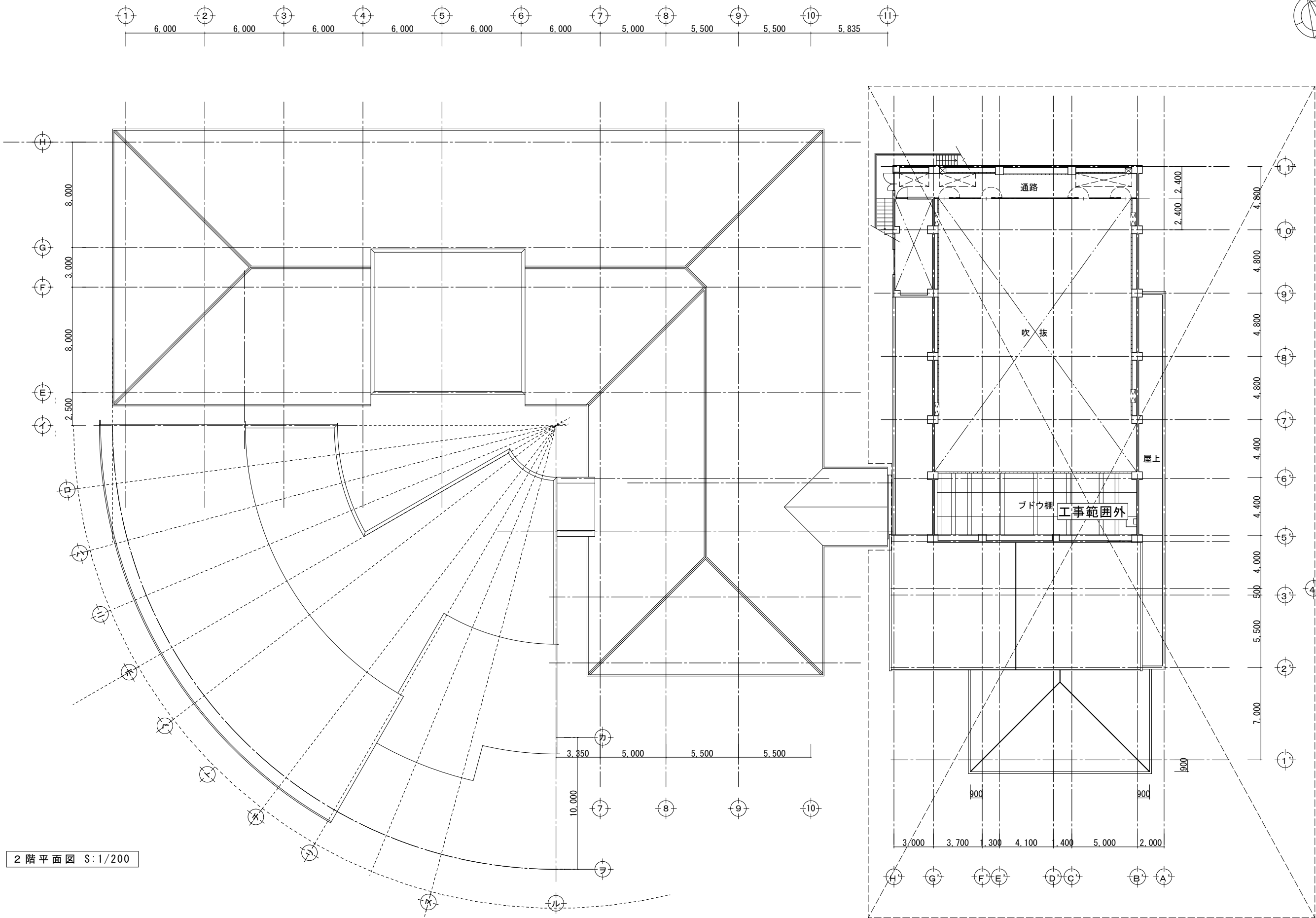
配 置 図 1/500

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-04
			訂正年月日				図 面 名 称 : 付近見取図・配置図	
							SCALE 1/500, 1/2500	



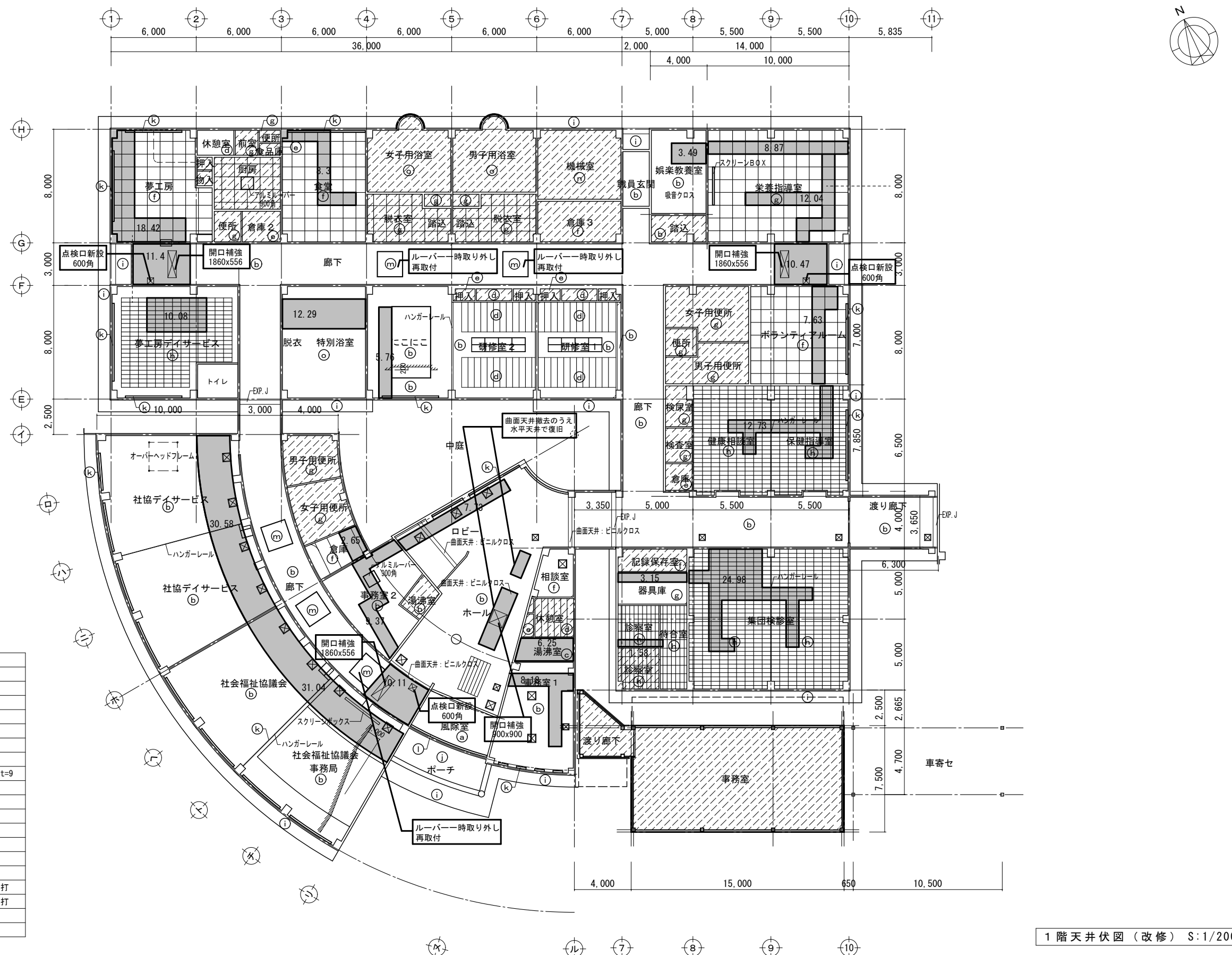
1 階平面図 S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-05
			訂正年月日				図面名称：1 階平面図 SCALE 1/200	



2階平面図 S:1/200

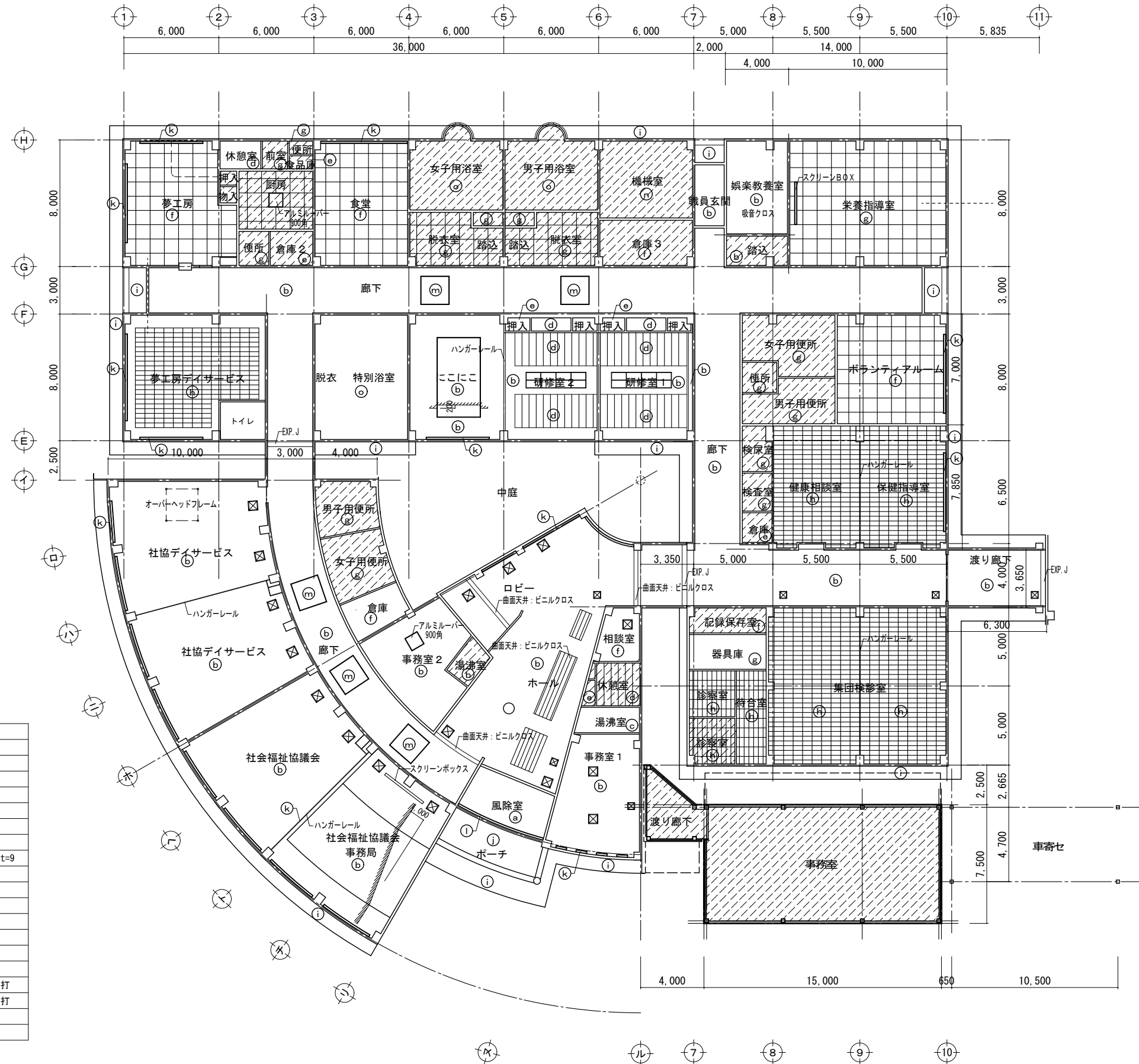
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-06
			訂正年月日				図面名称：2階平面図・3階平面図	
							SCALE 1/200	



.....撤去のうえ同仕上げて復旧部分
.....空調改修対象外

記号	仕 上
(a)	アルミスパンドレルt=0.8 (カラー)
(b)	テーバーボードt=9.5 ビニルクロス
(c)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り EP
(d)	杉証化粧石膏ボードt=9.5 敷目天井
(e)	ラワンベニヤt=4
(f)	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
(g)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り VP
(h)	プラスターボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
(i)	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
(j)	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
(k)	ブラインドBOX OP
(l)	アルミブラインドBOX (ブラック)
(m)	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
(n)	木毛セメント板
(o)	バスリブ
(p)	吸音石膏ボード t=9.5 EP・グラスウール t=50 裏打
(q)	難燃有孔ベニヤ t=5.5 EP・グラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450

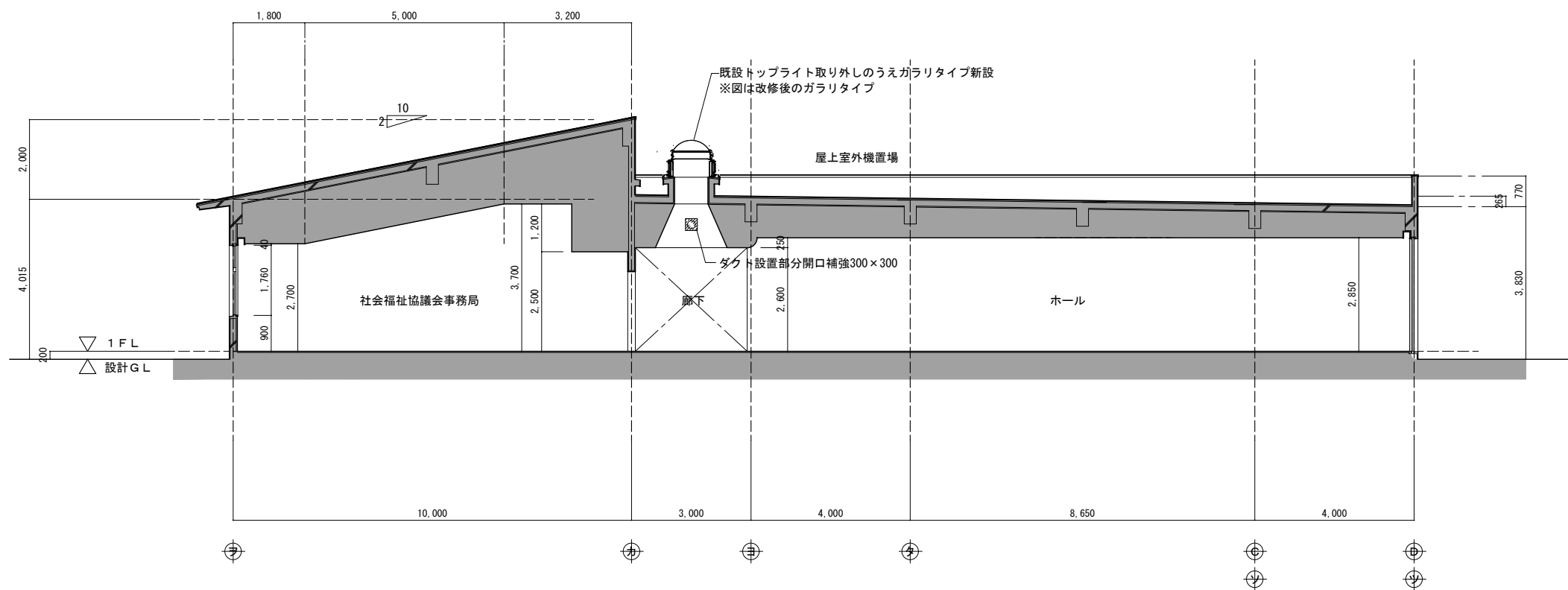
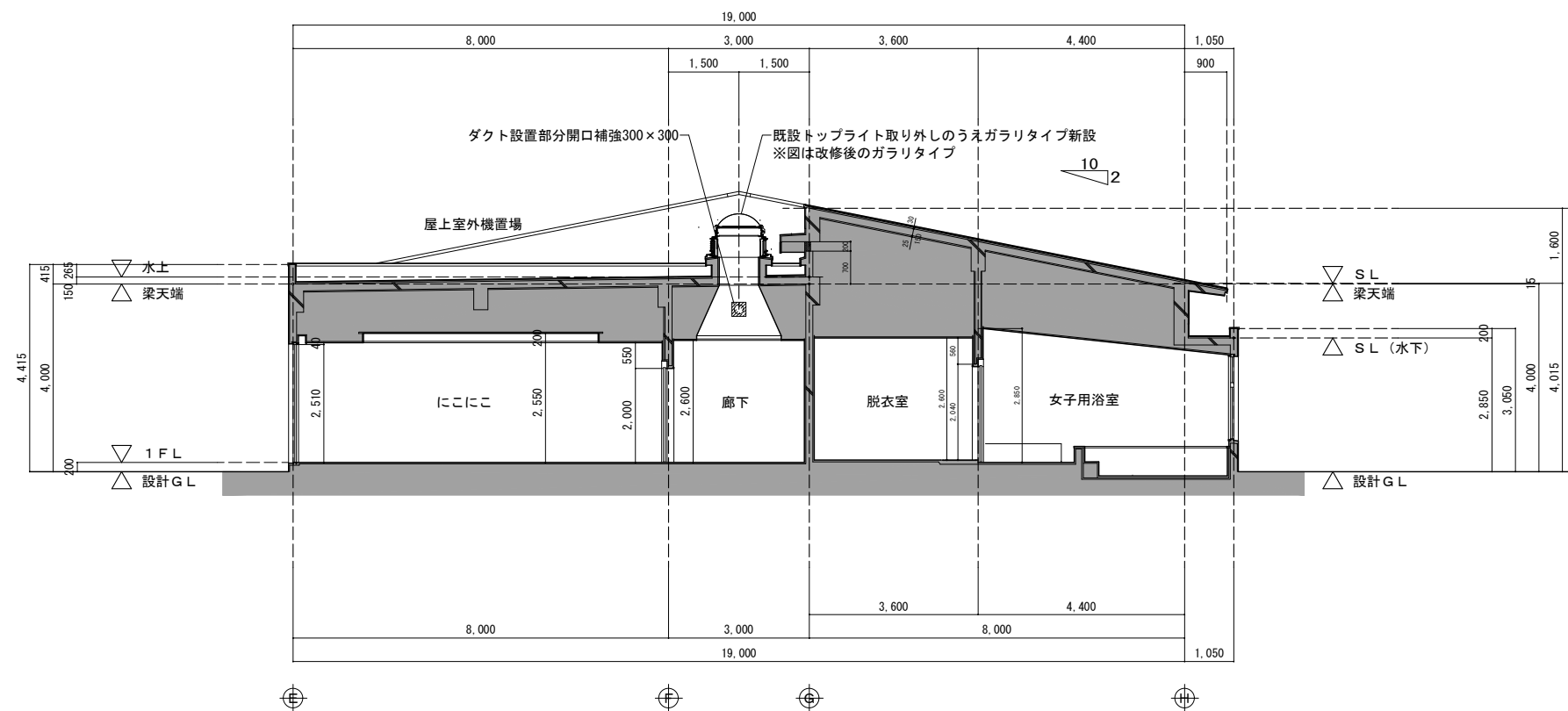
1階天井伏図 (改修) S:1/200



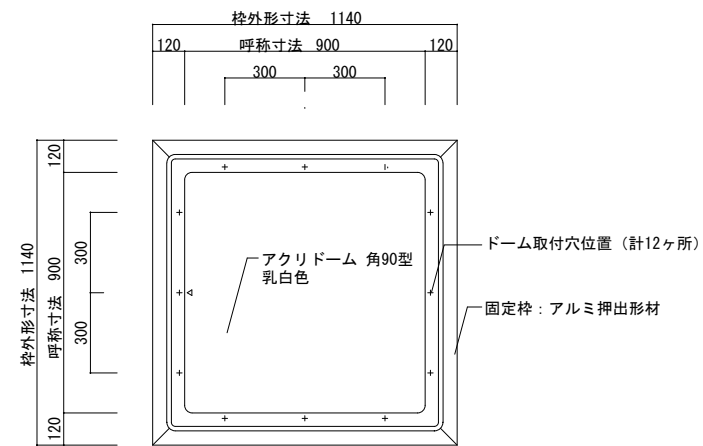
記号	仕 上
(a)	アルミスパンドレルt=0.8 (カラー)
(b)	ターバーボードt=9.5 ビニルクロス
(c)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り EP
(d)	杉証化粧石膏ボードt=9.5 数目天井
(e)	ラウンベニヤt=4
(f)	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
(g)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り VP
(h)	プラスターボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
(i)	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
(j)	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
(k)	ブラインドBOX OP
(l)	アルミブラインドBOX (ブラック)
(m)	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
(n)	木毛セメント板
(o)	バスリブ
(p)	吸音石膏ボード t=9.5 EP・グラスウール t=50 裏打
(q)	難燃有孔ベニヤ t=5.5 EP・グラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450

1階天井伏図 (既設) S:1/200

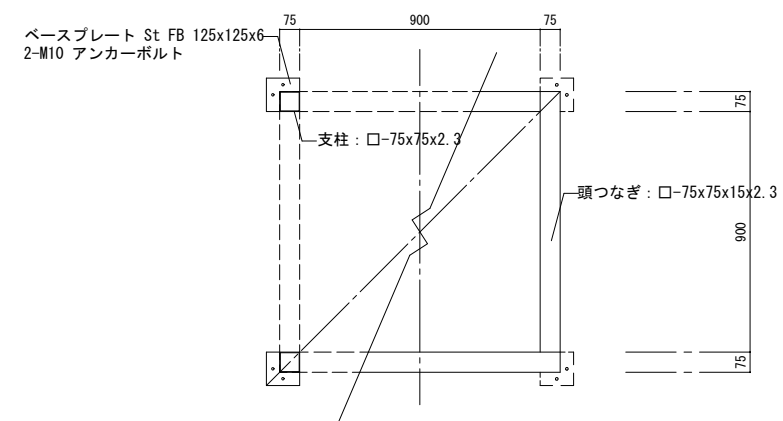
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-09
			訂正年月日				図面名称 : 天井伏図 (既設) SCALE 1/200	



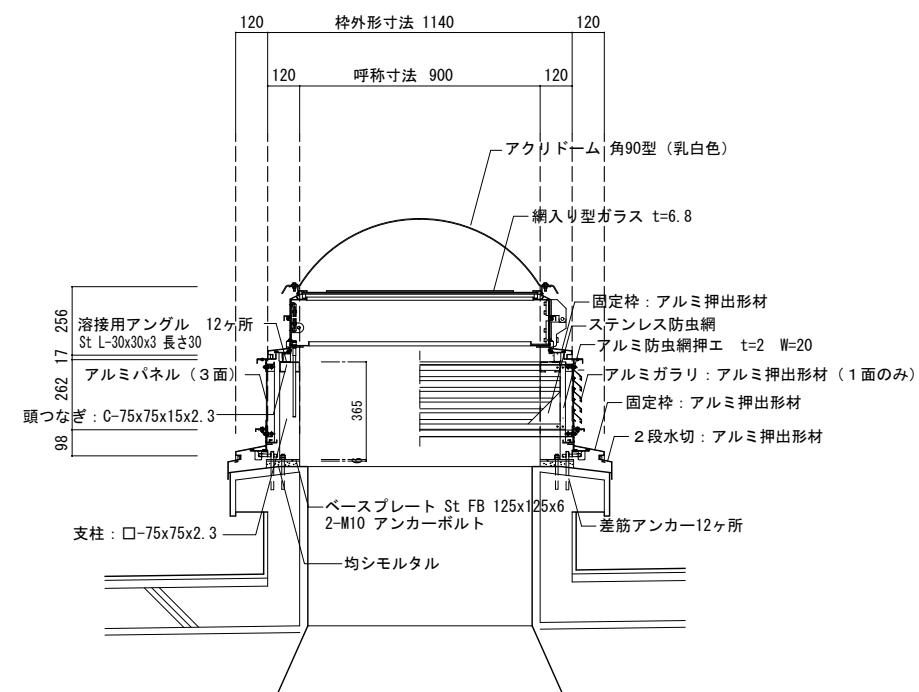
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-10
			訂正年月日				図面名称 : 断面図	
							SCALE 1/100	



トップライト伏図 S:1/20

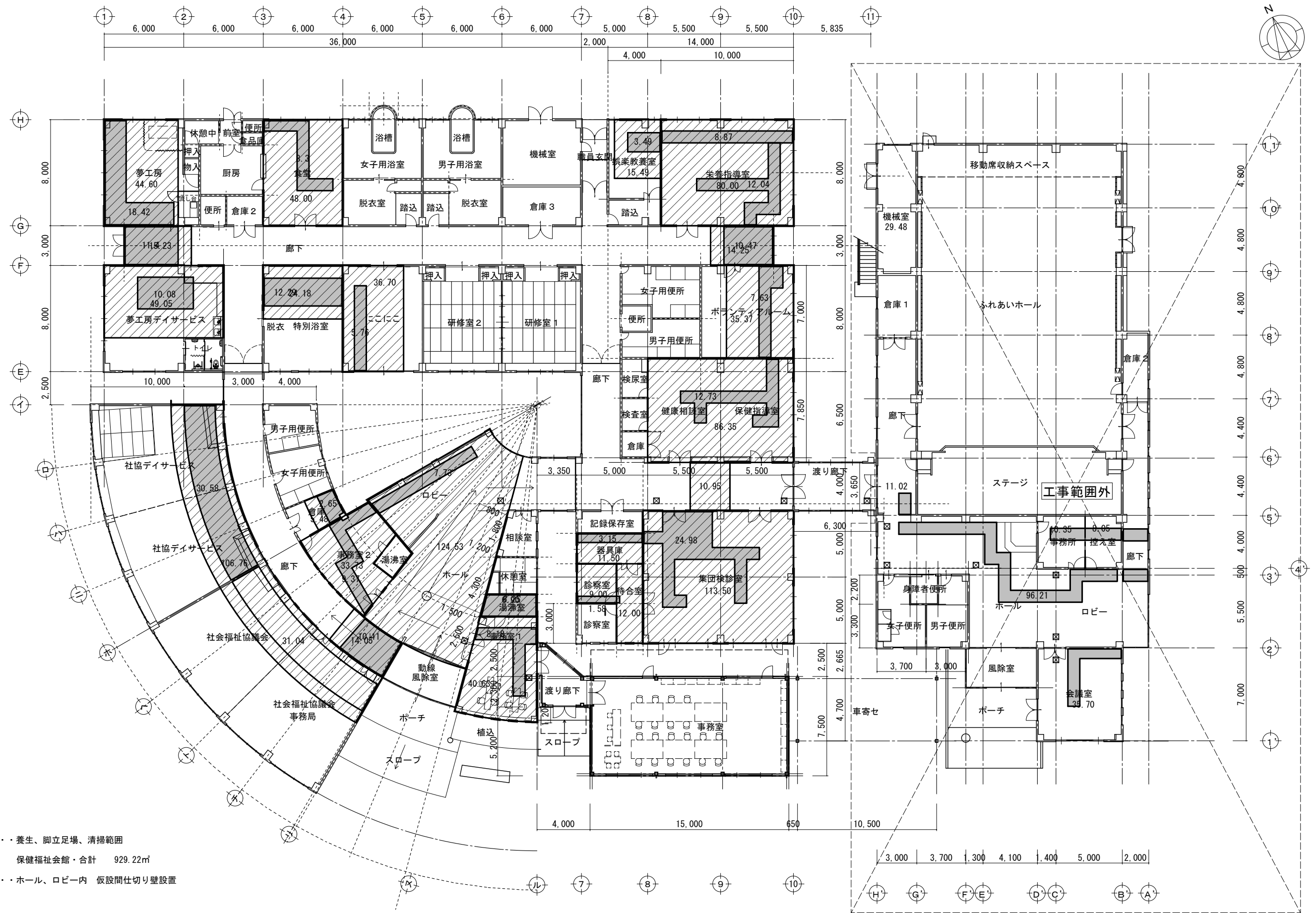


鉄骨フレーム平面図 S:1/20



トップライト断面図 S:1/20

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	A-11
			訂正年月日					
							図 面 名 称 : トップライト詳細図	SCALE 1/20



設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事
訂正年月日				図面名称：直接仮設（養生、仮設足場、清掃）範囲図 SCALE 1/200

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

玉城町保健福祉会館空調設備改修工事

2. 工事場所

玉城町勝田4876番地1

3. 建物概要

保健福祉会館RC造1階建延べ面積2、052.00㎡用途区分(Ⅰ)項

4. 工事項目

下記において●印を付した工事を対象とする。

●電力設備

●受変電設備

●電力貯蔵設備

●発電設備

●通信・情報設備

●中央監視制御設備

●医療関係設備

●構内配電線路

●構内通信線路

●その他

Ⅱ. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

・三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月制定版）

・三重県建設工事実務必携（令和元年7月1日版）

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編各平成31年版）

「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編各平成31年版）

「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編各平成31年版）

・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）

・電気工業会の業務の適正化に関する法律

・電気工事法

・労働安全衛生法

・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）

・電力会社供給約款

・その他関連法令、関連諸基準

Ⅲ. 特記仕様

1. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項

(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。

(2)設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。

なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。

(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 技術検査

中間技術検査実施回数(＊)回実施する段階(＊＊＊＊)

3. 火災保険等

三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。

① 保険の目的物工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）

② 保険の加入期間工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間

③ 保険金額原則として請負金額に相当する金額

4. 足場

●別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。
・本工事で設置する。
足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。

・内部足場（・A種・B種・C種・D種・E種・F種・G種）

・外部足場（・A種・B種・C種・D種・E種・F種）

5. 三重県産業廃棄物税

本工事はに産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（manifestの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6. 電気工作物の種類

・一般電気工作物●自家用電気工作物

7. 電気工事士

電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

8. 電気工業会の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

9. 電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。
なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。

10. 品質計画

品質計画については、監督員の承諾を受けること

11. 測定機器の校正等

試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）

等

を提出する。
また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。

12. 施工計画等

受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。
なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。

① 総合施工計画書

包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。

② 工種別施工計画書（施工要領書）

各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。

③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）

主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。

④ 耐震計算書、幹線計算書等

⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など

13. 機材等

工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。

① 使用機材届出書

② 機器明細図

使用機材届出書に記載のものその他、監督員の指示による。

③ 各種計算書

設計図書による他、監督員の指示による。

④ 機材の品質・性能証明

機器及び材料等の選定にあたっては後述の「電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト」、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」又はこれらと同等以上のものである。
なお、設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（一社）公共建築協会）による場合は評価書の写しを監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。

（認定製品の品名：)

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。
（認定製品の品名：間伐材製工事用バリエード・看板・標示板・)

14. 工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の黒板板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

15. 施工条件

監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。

(1)施工可能日

・指定なし

・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）

●指定あり

指定日（・施設休業日●打ち合わせ・その他（)

(2)施工可能時間帯

●指定なし

・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）

・指定あり

指定時間（・（）時～（）時・打ち合わせ・その他（)

(3)概成工期

・適用する（工事期日より（）日前）●適用しない

(4)その他

(

)

16. 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

・発掘調査等の実施あり

・発見された場合、発掘調査等の実施あり

17. 部分引渡し等

部分引渡し等がある場合は協力すること。

・部分引渡ししあり

・部分使用あり

該当部分（)時期（)

18. 事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。
なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

19. 建設副産物

請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。
なお、計画書及び実施書の提出とともにJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。

20. 発生材の処理等

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。
分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議することとする。

分別解体等の方法

工種・新築・増築・修繕・模様替・解体・その他（)

分別解体の方法・手作業・手作業、機械作業併用

(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。

(

)

(2)特別管理産業廃棄物

・変圧器

・コンデンサ

・その他（)

現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。

な

お、施工に際してPCB等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合

は、監督員に報告し対応を協議するものとする。

(3)現場内において再利用を図るもの

・発生土

・その他（)

(4)再資源化を図るもの

・コンクリート塊

・アスファルトコンクリート塊

・建設発生木材

・（)

(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの

・蛍光灯

・HIDランプ（高輝度放電ランプ）

・その他（)

「水銀廃棄物ガイドライン第2版」（平成31年3月環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。

(6)発注者へ引き渡すものについては「現場発出品調書」を提出すること。
また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。

(7)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。

21. 電子納品

(1)工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。
(2)工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。

22. 官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

・消防設備関係

・電気工作物関係

・受電関係

・通信関係

・建設工事関係

・その他（)

23. 消防法関係の手続き

(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成

・本工事（・建築工事・電気設備工事・機械設備工事）

・別途工事

(2)防火対象物使用開始届出書

書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

24. 工事用仮設備

構内への設置●できる（施設管理者と協議）できない

25. 工事用電力、水、その他

(1)本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。
(2)本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

26. 工事中等の保安監理

電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

27. 搬入計画

大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

28. 製品確認

発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

29. 機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

30. 完成確認及び完成検査時等の電源確保

機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

31. 完成時の操作説明

総合監等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

32. 不正軽油の使用の禁止

(1)県工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
(2)受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
(3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

33. 下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用

(1)本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。
なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
(2)本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。
なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

34. 総合評価方式

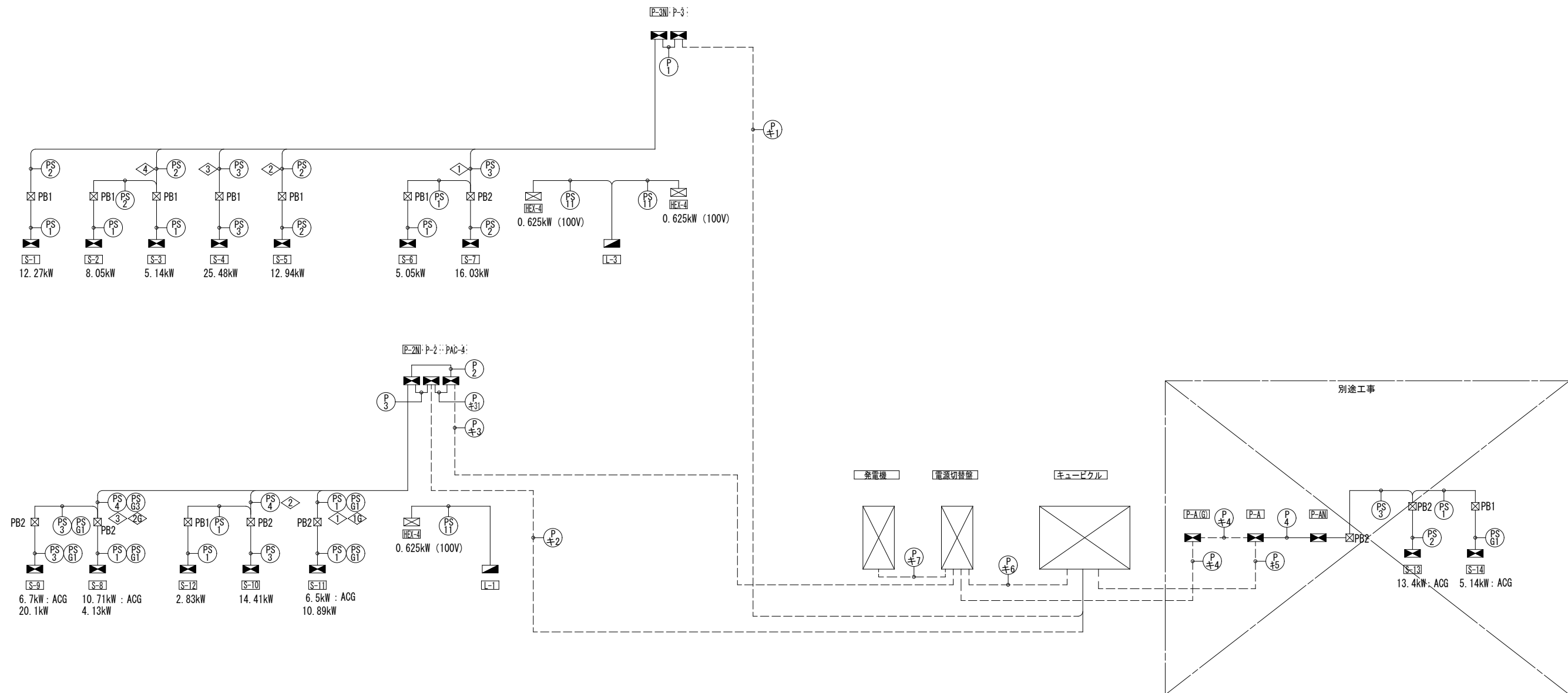
総合評価方式の工事において、技術提案の不履行があった場合は、本工事の完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の技術評価点（満点）の1割を減点する。また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は不履行工事件数に応じて、発注工事の技術評価点（満点）を減点する。

35. 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
(1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
(2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	E-01
			訂正年月日				図面名称 : 電気設備工事 特記仕様書 1 SCALE N/S	

[illegible]



PS11	EM-CE5.5-3C	E5.5	C31塗装
PS1	EM-CE8-3C	E5.5	C31塗装
PS2	EM-CE14-3C	E5.5	C31塗装
PS3	EM-CVT22	E5.5	C39塗装
PS4	EM-CVT38	E5.5	C39塗装
PS6	EM-CE8-3C	E5.5	C31塗装
PS63	EM-CVT22	E5.5	C39塗装

Pキ1	CVT200	E38	G92
Pキ2	CVT200	E38	G92
Pキ3	CVT22		G42
Pキ31	CVT22		G42
Pキ4	CVT22		G42
Pキ5	CVT100	E38	FEP100
Pキ6	CVT100		FEP100
Pキ7	CVT60×2	E38	FEP100

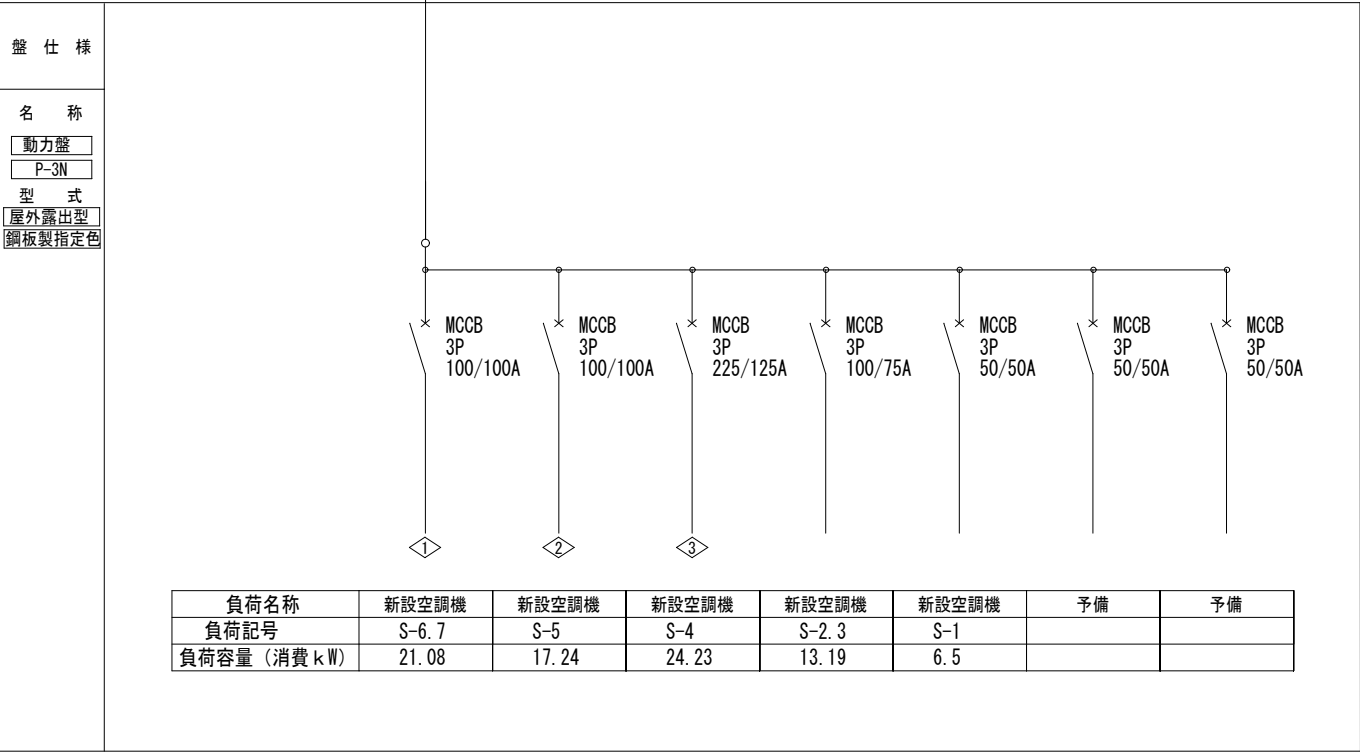
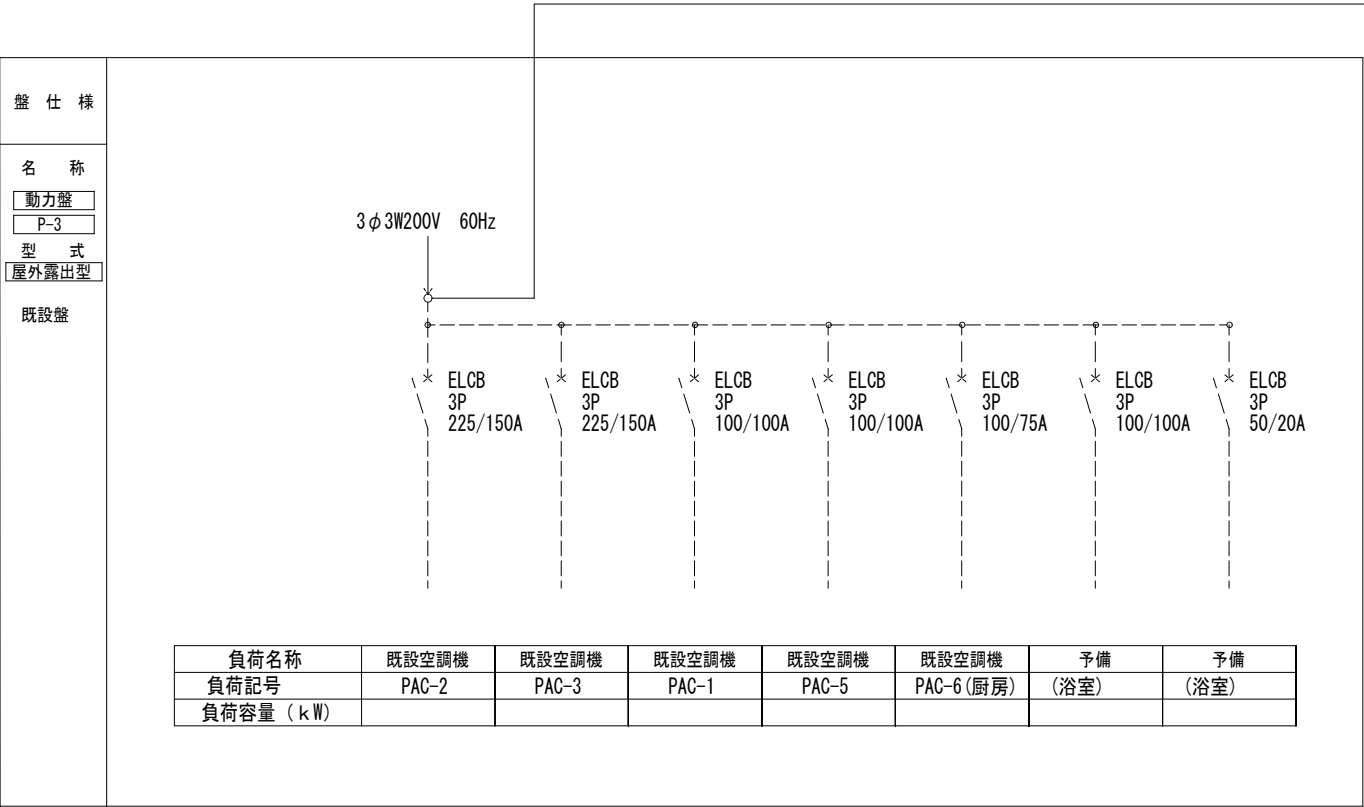
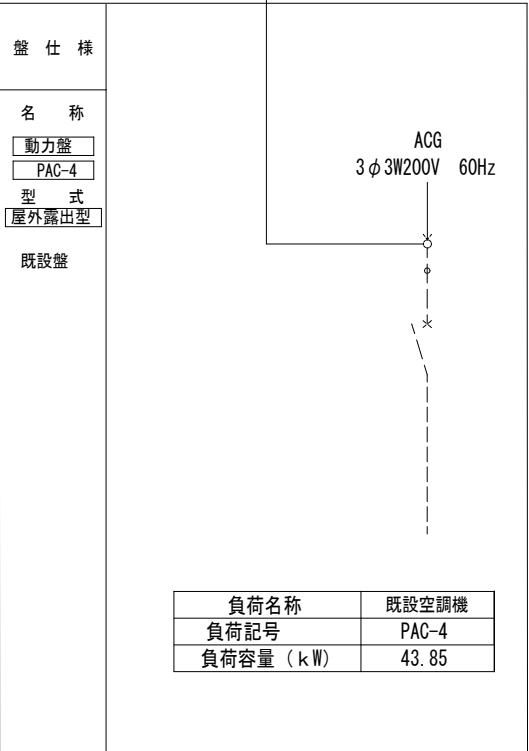
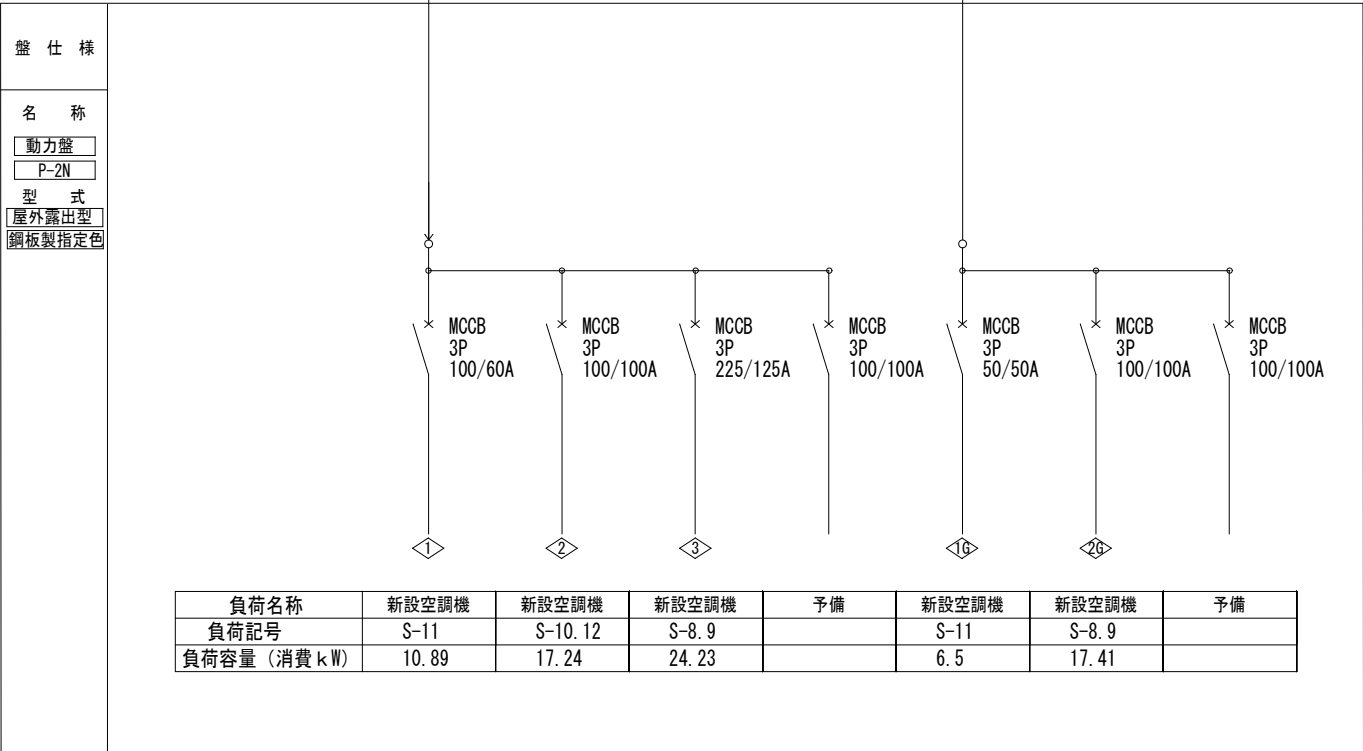
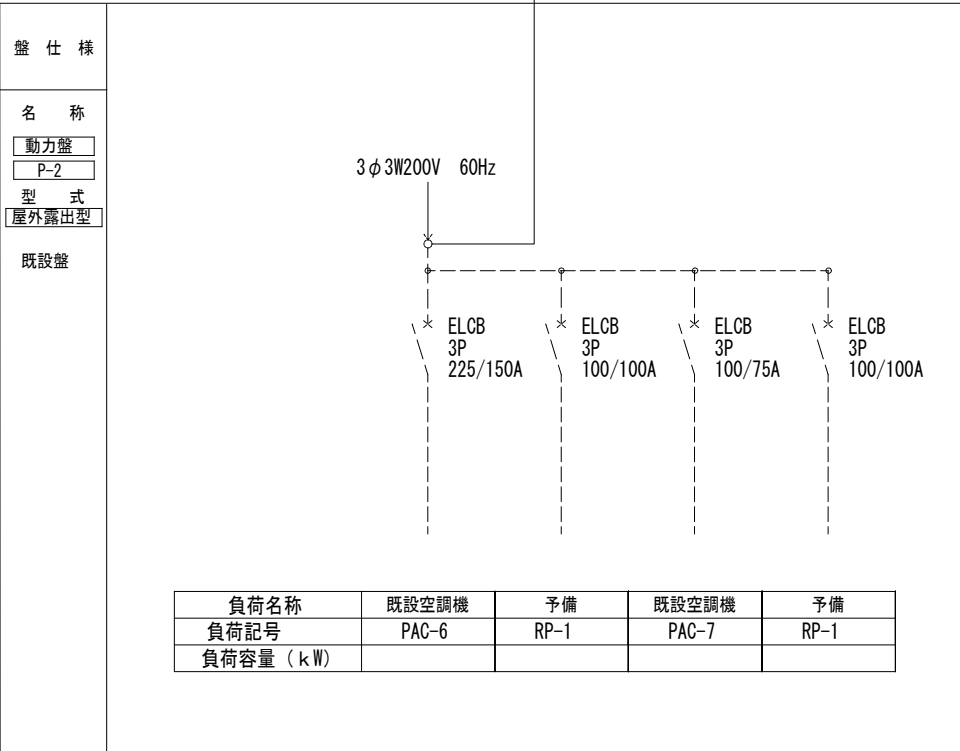
P1	EM-CVT200	E38	C75
P2	EM-CVT22	E14	C39
P3	EM-CVT200	E38	C75
P4	EM-CVT22	E14	C39

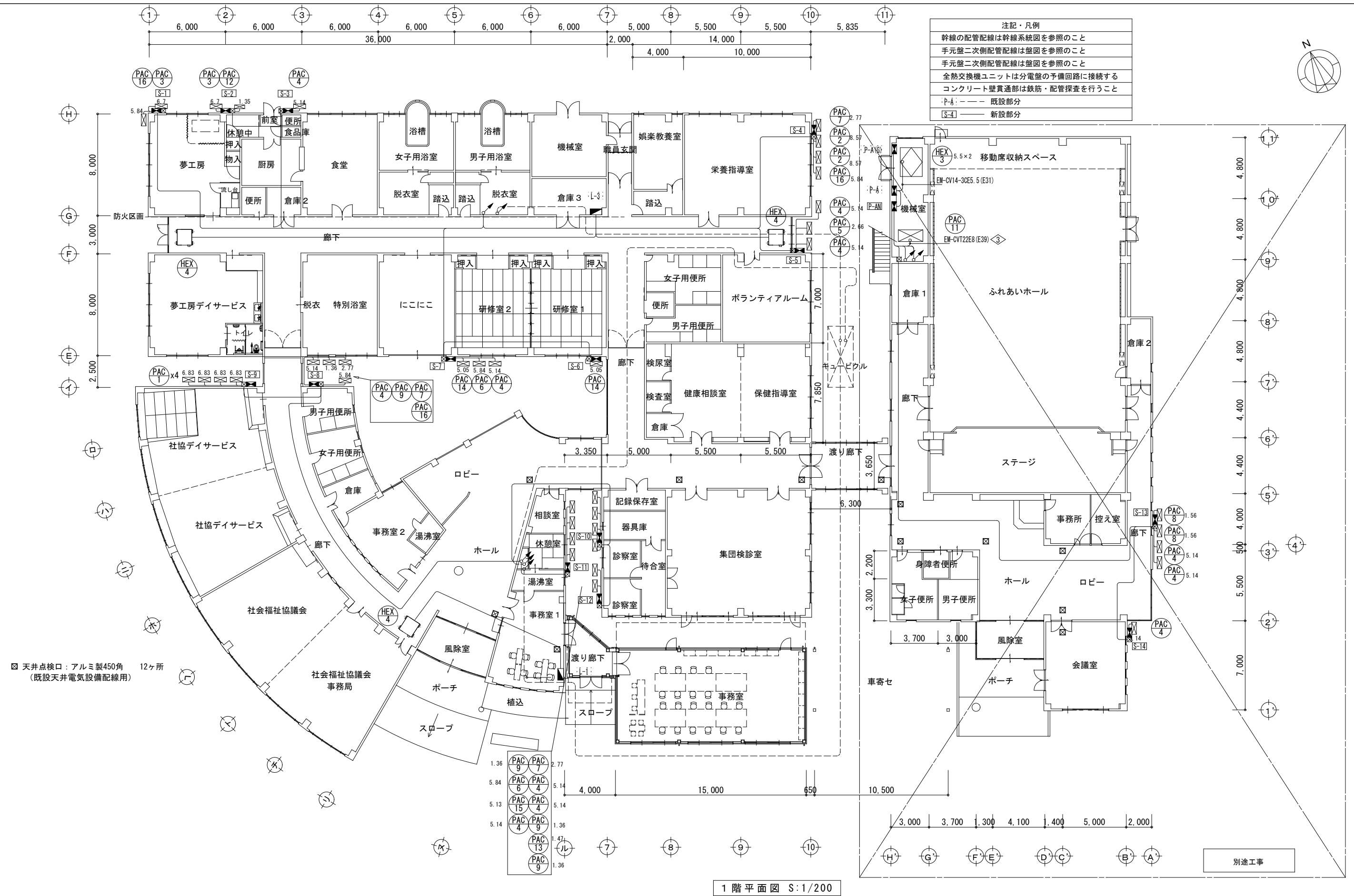
☒ PB1 100×100×100 SUS・WP
☒ PB2 200×200×200 SUS・WP

注記
採用する空調機仕様により幹線の計算を行うこと。

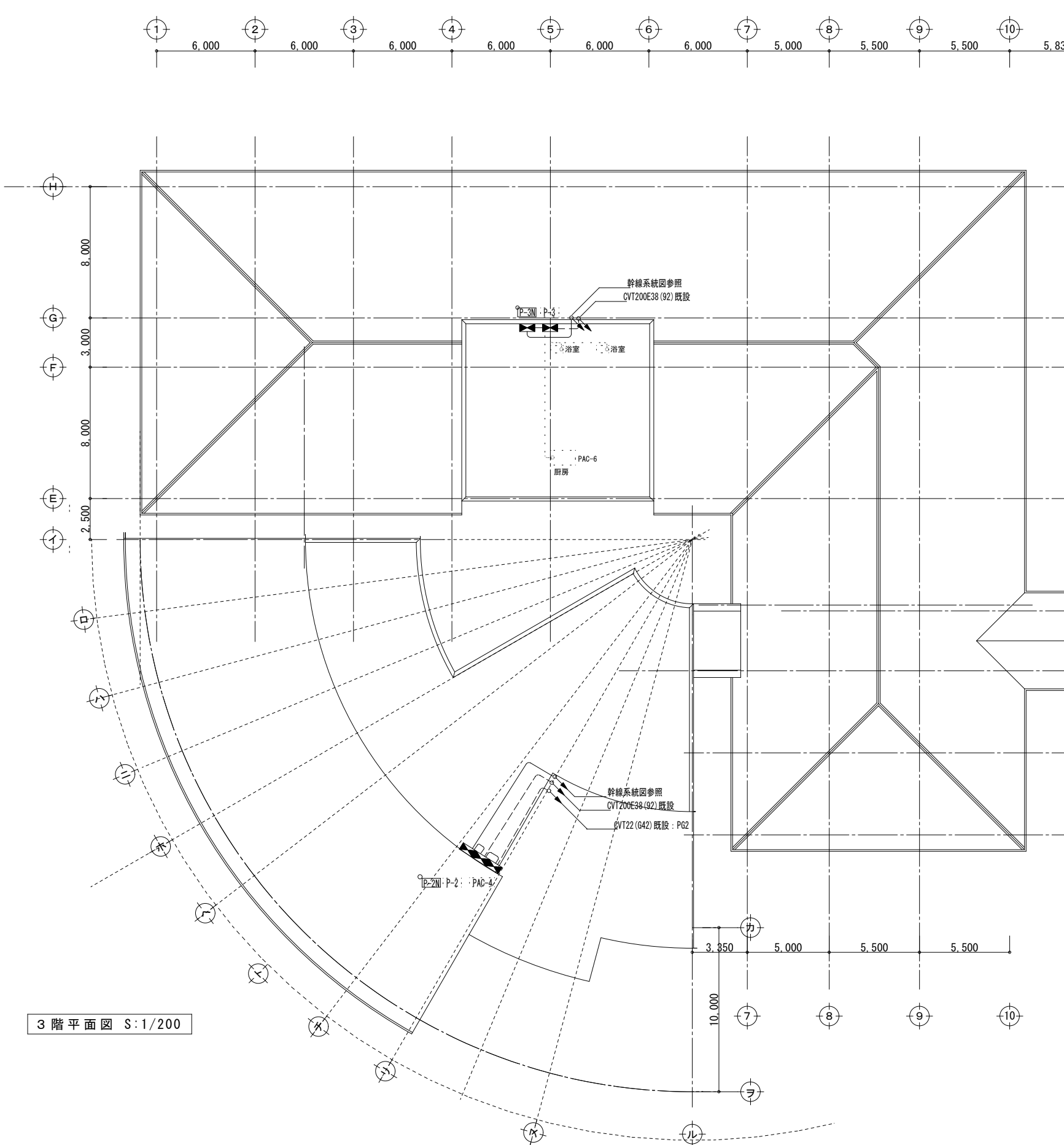
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	E-03
			訂正年月日				(改修)	
							図面名称：幹線系統図 SCALE N/S	

盤名称	結線	負荷名称	消費電力 kW	分岐器具	配線	配管	備考	盤名称	結線	負荷名称	消費電力 kW	分岐器具	配線	配管	備考
S-1 12.27kW		PAC-3	6.7	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○	S-10 14.41kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○
		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○			PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○
										PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○
S-2 8.05kW		PAC-12	1.35	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○			PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○
		PAC-3	6.7	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
S-3 5.14kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○	S-11 6.5kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○
							PAC-4			5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○	
S-4 25.48kW		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○			PAC-6	5.84	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○
		PAC-2	8.57	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○			10.89kW	PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装
		PAC-2	8.57	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
		PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○								
								S-12 2.83kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○
								PAC-13		1.47	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○	
S-5 12.94kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○	S-13 13.4kW		PAC-8	1.56	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	
		PAC-5	2.66	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○			PAC-8	1.56	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○			PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	
										PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	
S-6 5.05kW		PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○	S-14 5.14kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	
S-7 16.03kW		PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○	接地線はEM-IEとする S-1～14の手元開閉器盤は屋外露出型指定色塗装仕上げとする							
		PAC-6	5.84	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○								
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○								
S-8 10.71kW 4.13kW		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装	○								
		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○								
		PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装	○								
S-9 6.7kW 20.1kW		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	社会福祉協議会 ト～リ								
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	○								
								</							

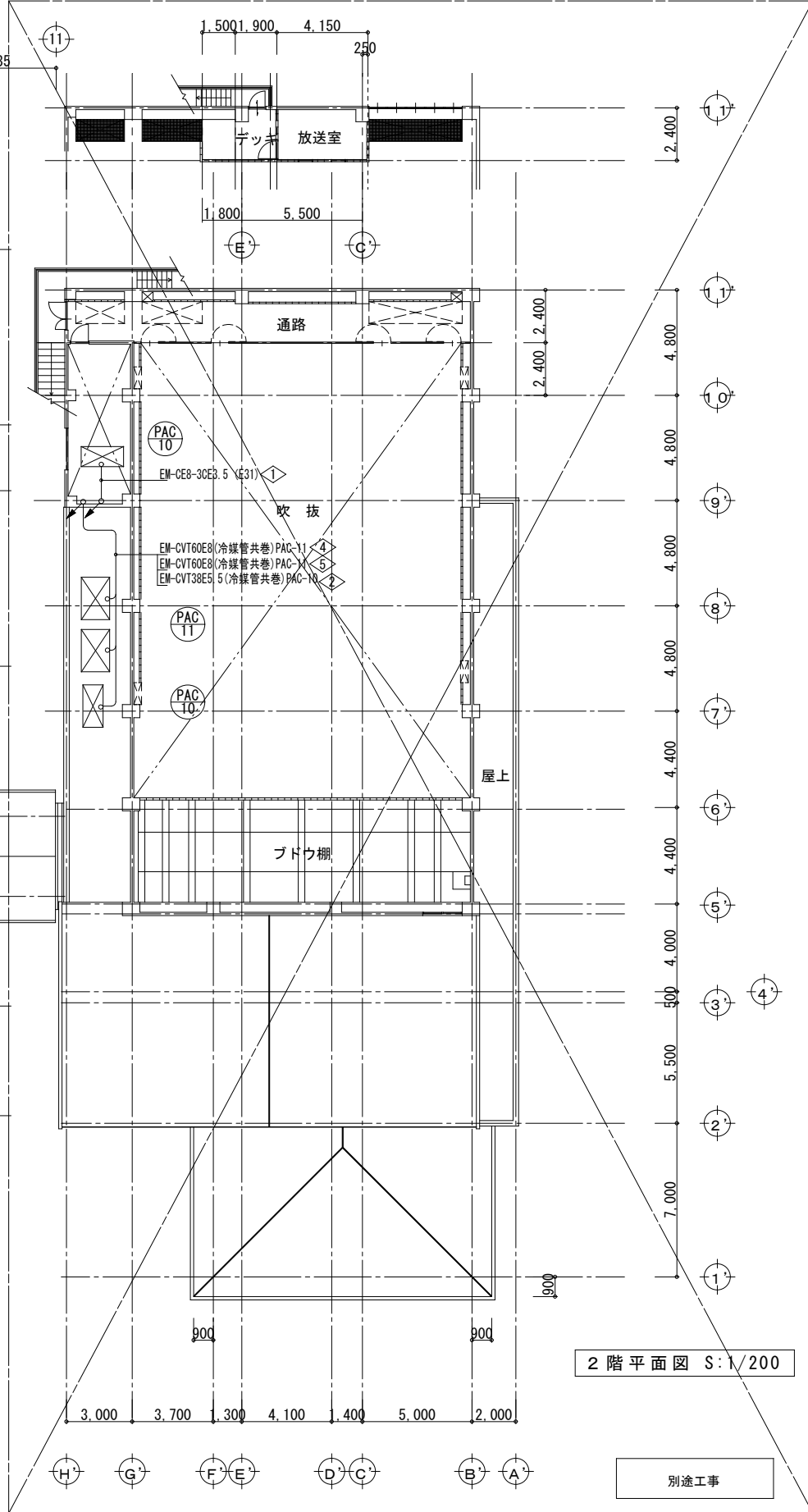




			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	E-06
			訂正年月日				図面名称：（改修）空調配線1階平面図 SCALE 1/200	



3 階平面図 S:1/200



2 階平面図 S:1/200

		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	E-07
		訂正年月日				図面名称：(改修)空調配線2階平面図・3階平面図 SCALE 1/200	



注記 1. 換気扇の脱着は機械設備、配線脱着は電気設備とする

脱着器具表						
室 名	照明器具	換気扇	火災感知器	スピーカ	その他	備 考
栄養指導室	6	3	3			
音楽教室	2	1				
廊下	2					
ボランティアルーム	3	1				
保健指導室	4	1				
健康相談室	2					
集団検診室	6		2			
記録保存室	1					
器具庫	1	1	1	1		
事務室 1	4	1	1			
湯沸室	1		1			
ホール・ロビー	4					
事務室 2	5	1	1	1		
倉庫	1	1				
社会福祉協議会	4		2			
社協デイサービス	4		2			
夢工房デイサービス	2		1			
にこにこ	3	1				
夢工房	4	1				
食堂	4		1	1		



記号	仕 上
(a)	アルミスパンドレルt=0.8 (カラー)
(b)	テーバーボードt=9.5 ビニルクロス
(c)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り EP
(d)	杉証化粧石膏ボードt=9.5 敷目天井
(e)	ラウンベニヤt=4
(f)	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
(g)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り VP
(h)	プラスターボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
(i)	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
(j)	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
(k)	ブラインドBOX OP
(l)	アルミブラインドBOX (ブラック)
(m)	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
(n)	木毛セメント板
(o)	バスリブ
(p)	吸音石膏ボード t=9.5 EP・グラスウール t=50 裏打
(q)	難燃有孔ベニヤ t=5.5 EP・グラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450

保健福祉会館

1階天井伏図 S:1/200

設計年月日

承認

検図

P & D

工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事

図 面 名 称 : 天井改修器具表

SCALE 1/200

E-10

A2→A3縮小 71%

機械設備工事特記仕様書

1

工 事 名 称

玉城町保健福祉会館空調設備改修工事

2

工 事 場 所

玉城町勝田4876番地Ⅰ

3

建 築 概 要

玉城町保健福祉会館 R C造 平屋建 延べ面積 2,052.00㎡

4

適 用 基 準

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月）（最新改定：令和元年7月）国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」「公共建設設備工事標準準則（電気、機械設備工事編）平成31年版」「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」独立行政法人 建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5

一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に念かすり誠実に施工すること。
設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しようとする判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足により意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。

(1)

提出図書

1) 工事書類
① 工事書類類
・ 施工計画書
・ 打合記録
・ 材料搬入報告書
・ 工程表
・ 安全・訓練実施記録
・ 機器明細図
・ 工事日報
・ 品質確認書類
・ 工事写真（データ）等
② 完成図（竣工図）
・ 竣工図
・ 機器完成図（ファイル等2部）
・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）2部
・ 機器性能試験成績書 2部
・ 総合調整測定表（試験結果・測定結果等） 2部
・ 官公署届出書類、検査済証 2部
・ 出入形確認書類 2部 等
※ 竣工図・竣工図はC A Dにより作成すること。
※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真稿、工事完成図書編）に基づき電子納品（3部）すること。
※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電量化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電量化について（平成29年3月1日付付国営繕第211号）」による。
※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。

(2)

機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー一選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3)

官公署等への届出手続

工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用を負担すること。
① 消火栓に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事（・ 建築工事・電気設備工事・機械設備工事）
・ 別途工事
② 防火対象物使用開始届出書書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。

(4)

品質管理

工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリストを作成し、管理を行うこと。

(5)

出来形管理

以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。
1) 各種機器据付
・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
・ 基礎寸法
・ 水平、垂直等
2) 配管・ダクト工事
・ 支持間隔
・ 振れ止め支持間隔
3) 屋外排水工事
・ 排水管勾配
・ 樹の深さ
4) 水栓、リモコンスイッチ等の取付高さ

(6)

製品確認

発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
☐ 適用する ☐ 適用しない

(7)

耐震安全性の分類

構造体（Ⅱ）類 建築非構造材（B）類 建築設備（乙）類

(8)

機器の地震力（主要機器）

機器名
設置箇所（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数 （1.0）
水槽類
設置箇所（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数 （1.0）

その他監督員が指示するもの

(9)

冷媒（フロン類）の回収

☒ 適用する ☐ 適用しない
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。
・ フロン回収行程管理票
・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。
パッケージ型空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

(10)

中間技術検査

実施回数（ ）回
実施する段階（ ）

(11)

発生材の処理等

1) 引渡しを要するもの（ ）
上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
2) 特別管理産業廃棄物（ ）
処理方法（ ）
なお施工に際して、廃石綿等特殊管理廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
3) 現場内において再利用を図るもの ☐ 発生土 ☐ その他（ ）
4) 再資源化を図るもの（ ☐ コックリート塊 ☐ アスファルトコンクリート塊 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木屑 ☐ 建設発生土等）
5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。
6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。
(12) 電気保安技術者 ☐ 配置する ☒ 配置しない
(13) 施工条件
監督員及び依頼局と協議調整し決定すること。
1) 施工可能日 ☒ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり ☐ 指定なし
2) 施工可能時間帯 ☒ 指定なし ☐ 指定あり（時～時）
(14) 仮設工期
建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。
■ 指定なし ☐ 指定あり（平成年月日）
(15) 仮設工事
構内既存の施設
1) 便所 ☐ 利用できる ☒
2) 工用水 ☒ ☐ 利用できる（無償） ☐ 利用できない
3) 工用水電力 ☒ 利用できる（有償） ☐ 利用できる（無償） ☐ 利用できない
※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。
(16) 足場
□ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で使用できる。
■ ☐
足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。
公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）第1編 2. 1より足場の種別は以下による。
□ 内部足場（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 ■ D種 ☐ E種 ☐ F種 ☐ G種）
□ 外部足場（ ☐ A種 ■ B種 ☐ C種 ☐ D種 ☐ E種 ☐ F種）
□ 防護シート設置範囲 □ 工事に必要な範囲 □（ ）

(17)

建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）及び別記記載の指定資材及び参見種メーカー又はこれらと同等品以上とする。
品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。（認定製品の品名：
4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。（認定製品の品名：
・ 間伐材製工事用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板）

(18)

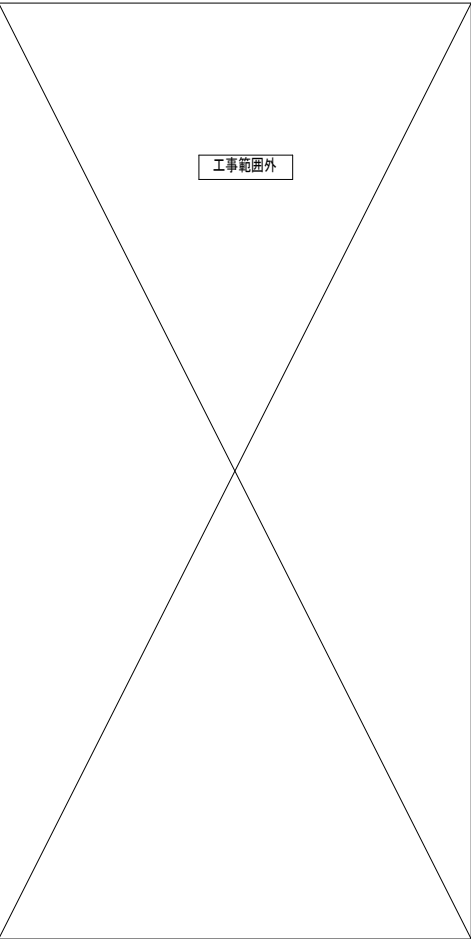
建設副産物

請求金額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の撤出がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する計画書）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を撤出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出すること。
また、工事完了後には「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬出した場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出すること。
なお、計画書（実施書）の提出とともにJ A C I Cが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行うこと。
(19) 三重県産業廃棄物税
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計を超えて請求することはできない。
(20) 事故の発生時
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日まで監督員へ提出すること。
なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
(21) 既設との取合い・養生
本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。
また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならない復旧すること。
(22) 総合評価方式
総合評価方式の工事において技術提案、施工体制確認資料の記載内容等に不履行があった場合、本件工事完成年度の翌年度に三重県が発注する総合評価方式案件（以下「発注工事」という。）において、貴社の加算点から発注工事の加算点満点の1割を減点します。 また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は、不履行工事件数に応じて減点します。 なお、貴社が特定J V、経営J Vの構成員ある場合においても、発注工事の加算点満点の1割を減点します。
(23) 下請次数制限及び県内企業優先使用
本工事における下請の次数は、2次

A2→A3縮小 71%

図示記号

記 号	名 称
—— -- ——	屋 外 給 水 管
—— -- ——	屋 内 給 水 管
—— R ——	冷 媒 配 管
—— D ——	ド レ ン 配 管
—————	ダ ク ト
□	給 水 栓
⋈ ♂	井 類 10K

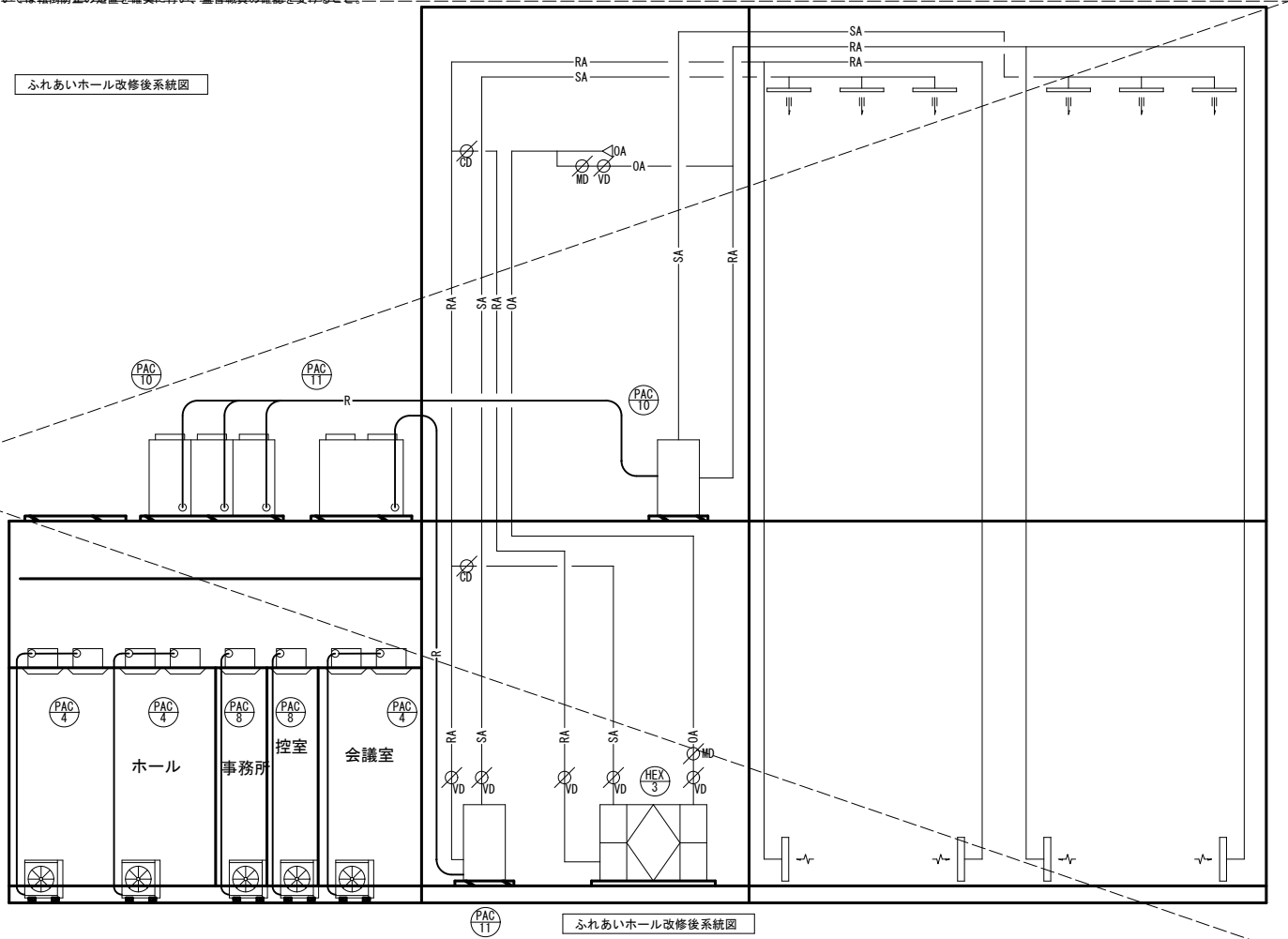
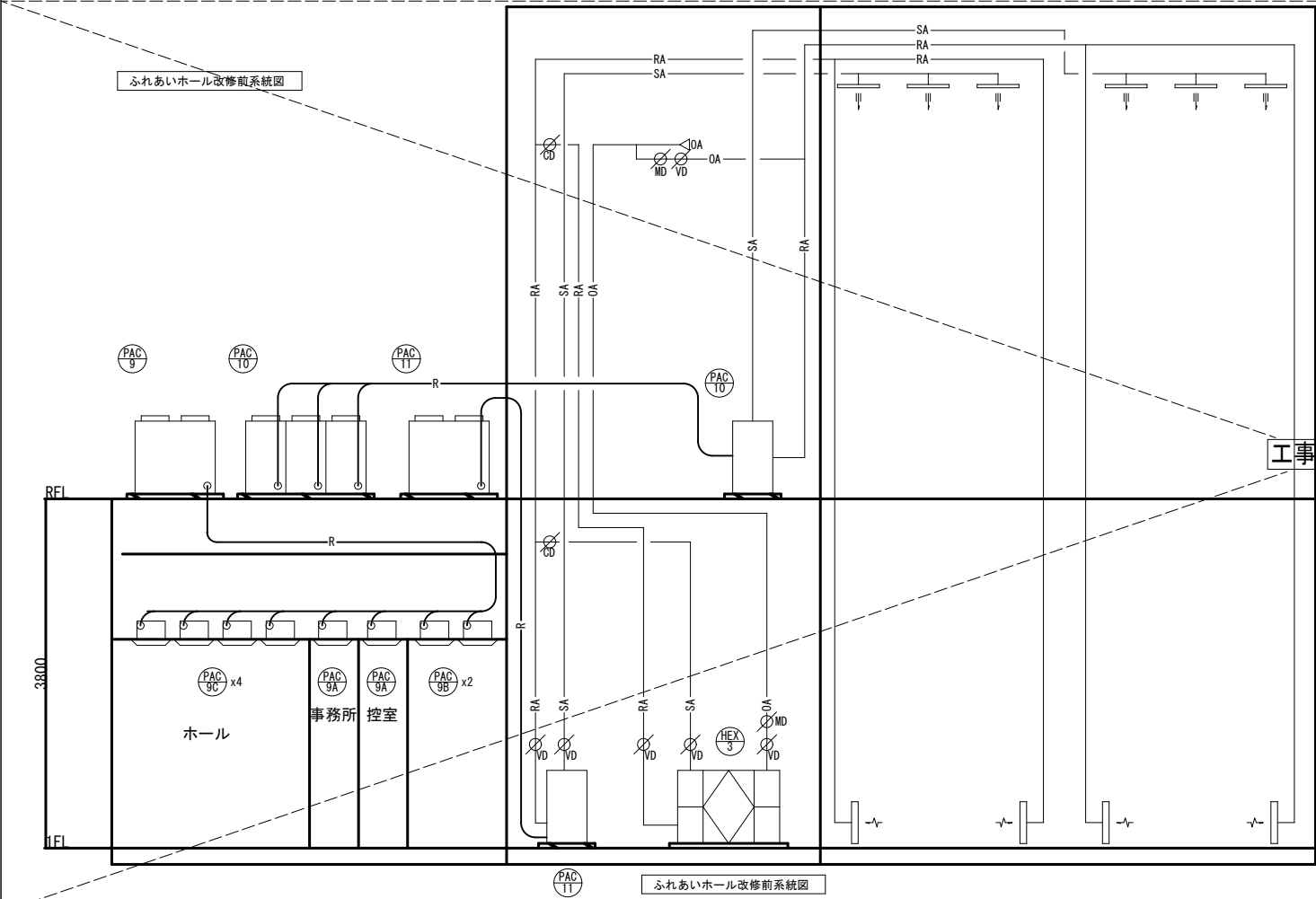


			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-03
			訂正年月日				図 面 名 称 : 配置図	
							SCALE 1/300	

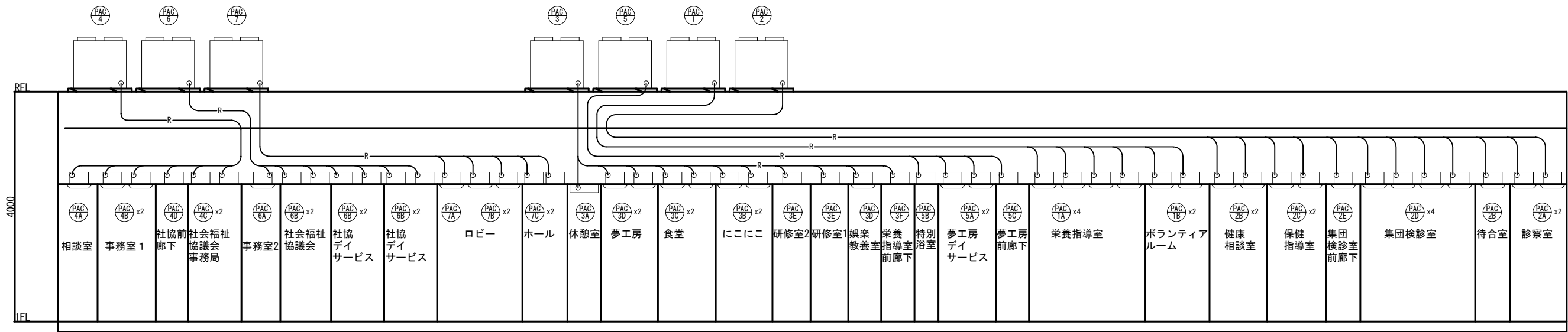
撤去機器表									
記号	機器名称	機器仕様	冷房能力 Kw	暖房能力 Kw	相 Φ	電圧 (V)	台数	備考	既設機器
PAC-1	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	45.0	50.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J450BM-A
PAC-1A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	9.0	10.0	1	200	4	栄養指導室	PIFY-J90GM-A
PAC-1B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	ボランティアルーム	PIFY-J45GM-A
PAC-2	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-2A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	2	診察室	PMEY-J28AM-A1
PAC-2B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	3.6	4.0	1	200	3	保健指導室 待合室	PIFY-J36GM-A
PAC-2C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	健康相談室	PIFY-J45GM-A
PAC-2D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	4	集団検診室	PIFY-J56GM-A
PAC-2E	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	1	集団検診室前廊下	PIFY-J71GM-A
PAC-3	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-3A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 壁掛型	2.8	5.0	1	200	1	休憩室	PMEY-J28AM-A
PAC-3B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	にこにこ	PIFY-J45GM-A
PAC-3C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	2	食堂	PIFY-J56GM-A
PAC-3D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	3	木工房 音楽教室	PIFY-J71GM-A
PAC-3E	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	2	研修室(天井内残置)	PEFY-J90M-A
PAC-3F	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型(全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	栄養指導室前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-4(避難所系)	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-4A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	1	相談室	PMEY-J28AM-A1
PAC-4B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	事務室1	PIFY-J45GM-A
PAC-4C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	11.2	12.5	1	200	2	社会福祉協議会事務局	PEFY-J112M-A
PAC-4D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型(全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	社協前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-5	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-5A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	8.0	9.0	1	200	2	木工房ディスプレイ	PIFY-J80GM-A
PAC-5B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	11.2	12.5	1	200	1	特別浴室	PEFY-J112M-A
PAC-5C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型(全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	木工房前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-6	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-6A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	1	事務室2	PIFY-J71GM-A
PAC-6B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	6	社会福祉協議会 社協ディスプレイ	PEFY-J90M-A
PAC-7	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	28.0	31.5	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J280M-B
PAC-7A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	1	ロビー	PMEY-J28AM-A1
PAC-7B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	2	ロビー	PIFY-J56GM-A
PAC-7C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	2	ホール(ホール側1台天井内残置)	PEFY-J90M-A
PAC-9(避難所系)	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-9A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット2方向	2.8	3.2	1	200	2	事務所 控え室	PIFY-J28LMD-A
PAC-9B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	会議室	PIFY-J45GM-A
PAC-9C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	4	ふれあいホールロビー	PIFY-J56GM-A
PAC-10	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台	61.1	70.6	3	200	1	ホール機械室	PAH-J630DC
PAC-11	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台	135.0	137.0	3	200	1	ホール機械室	PAH-J1400K
RA-1	ルームエアコン	室外機	2.2	3.4	1	100	1	屋上機械置場(過去改修により室外機のみ)	
HEX-3	全熱交換器ユニット	ローター回転型	外気量8800m3/h 排気量8800m3/h 熱交換ファンS.50W 排気ファンS.50W	3	200	1	ホール機械室	EU-1500FA	
	空冷マルチパッケージ用 集中リモコン						2	事務室1	

改修機器表												
記号	機器名称	機器仕様	電気容量							台数	据付位置	備考
			冷房能力 Kw	暖房能力 Kw	相 Φ	電圧 (V)	送風機出力 Kw	消費電力				
								冷房	暖房	低温暖房		
PAC-1	空冷ヒートポンプパッケージ	天井埋込型 ツイン 耐塩害	14.0	16.0	3	200		4.74	5.13	6.70	4	社協事務室(避難所系) 社会福祉協議会 社協ディスプレイサービス
PAC-2	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	20.0	22.4	3	200		6.11	5.74	8.57	2	栄養指導室
PAC-3	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	14.0	16.0	3	200		4.25	4.12	6.7	2	木工房 木工房ディスプレイサービス
PAC-4	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.40	2.48	5.14	11	食堂 喫茶コーナーロビー ふれあいホールロビー(避難所系) 事務室1(避難所系) にこにこ 健康相談室 集団検診室 ボランティアルーム 会議室(避難所系)
PAC-5	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	7.1	8.0	3	200		1.89	1.68	2.66	1	保健指導室
PAC-6	空冷ヒートポンプパッケージ	天井埋込型 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.97	2.83	5.84	2	特別浴室 湯沸室
PAC-7	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	7.1	8.0	3	200		1.98	2.01	2.77	3	事務室2 総運転室 集団検診室前廊下
PAC-8	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ2方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.885	1.04	1.56	2	ふれあいホール事務所(避難所系) 控室(避難所系)
PAC-9	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ1方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.91	1.01	1.36	4	相談室(避難所系) 診察室1・2 喫茶コーナーロビー
PAC-10	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台 耐塩害	50.0	56.0	3	200		15.38	16.42	18.83	1	ホール機械室
PAC-11	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台 耐塩害	140.0	160.0	3	200		39.89	42.67	68.44	1	ホール機械室
PAC-12	空冷ヒートポンプパッケージ	壁掛型 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.944	1.15	1.35	1	休憩室
PAC-13	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.759	0.871	1.47	1	待合室
PAC-14	空冷ヒートポンプパッケージ	床置型 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.62	2.81	5.05	2	研修室1・2
PAC-15	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.32	2.45	5.13	1	玄関ホール
PAC-16	空冷ヒートポンプパッケージ	天井ビルトイン 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.98	2.72	5.57	3	栄養指導室前廊下 木工房前廊下 社協前廊下(避難所系)
HEX-3	全熱交換器	ローター回転型 (ローター0.2KW) 分割搬入型 防振架台	外気量8800m3/h 排気量8800m3/h 熱交換ファンS.50W 排気ファンS.50W	3	200						1	ホール機械室
HEX-4	全熱交換器ユニット		風量[m3/h] 1,000		1	100		熱交換 0.58	普通換気 0.625	騒音[dB] 53.5	3	栄養指導室前廊下 木工房前廊下 社協前廊下
	集中リモコン	液晶カラータッチパネル			1	100					1	事務室1

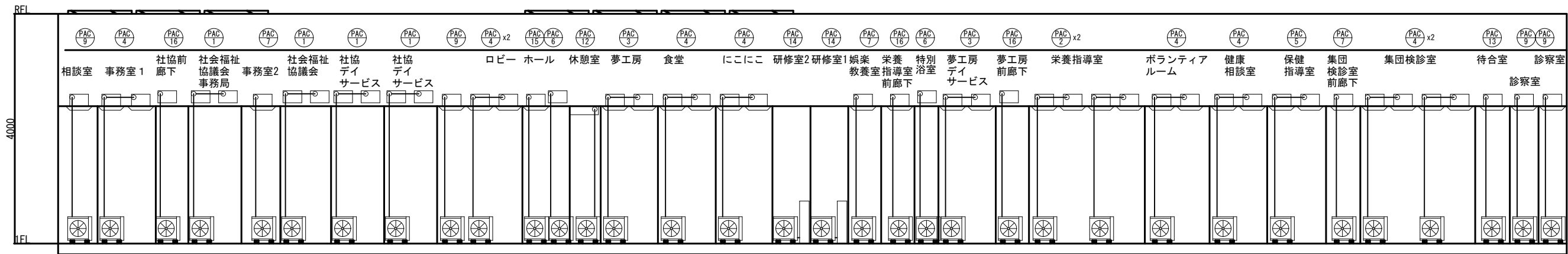
注：室外機については転倒防止の処置を確実に、監督職員の確認を受けること。



	設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-04
	訂正年月日				図 面 名 称 : 空調機器表 SCALE N/S	

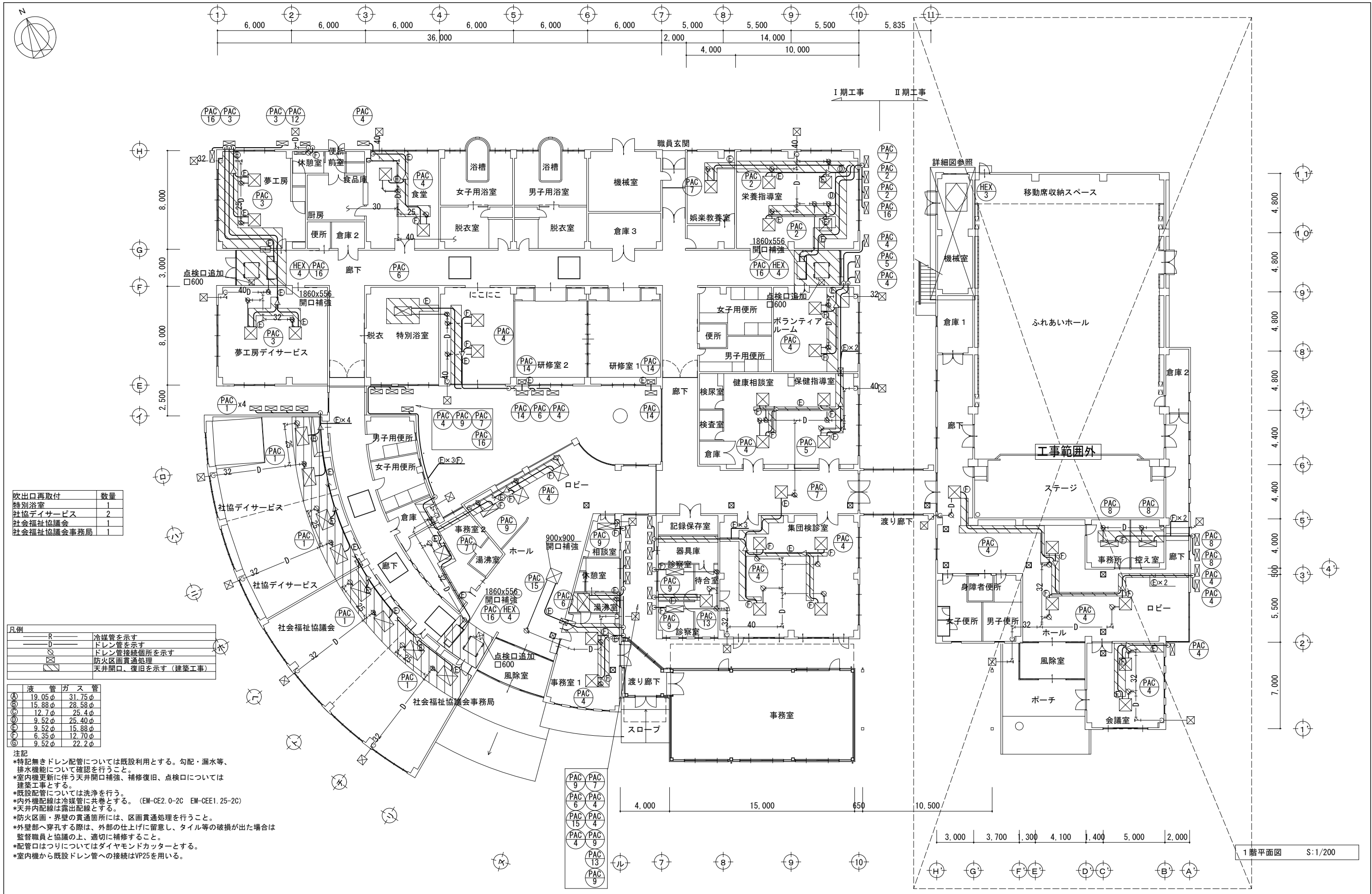


福祉会館改修前系統図



福祉会館改修後系統図

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-05
			訂正年月日				図 面 名 称 : 保健福祉会館系統図	
							SCALE N/S	



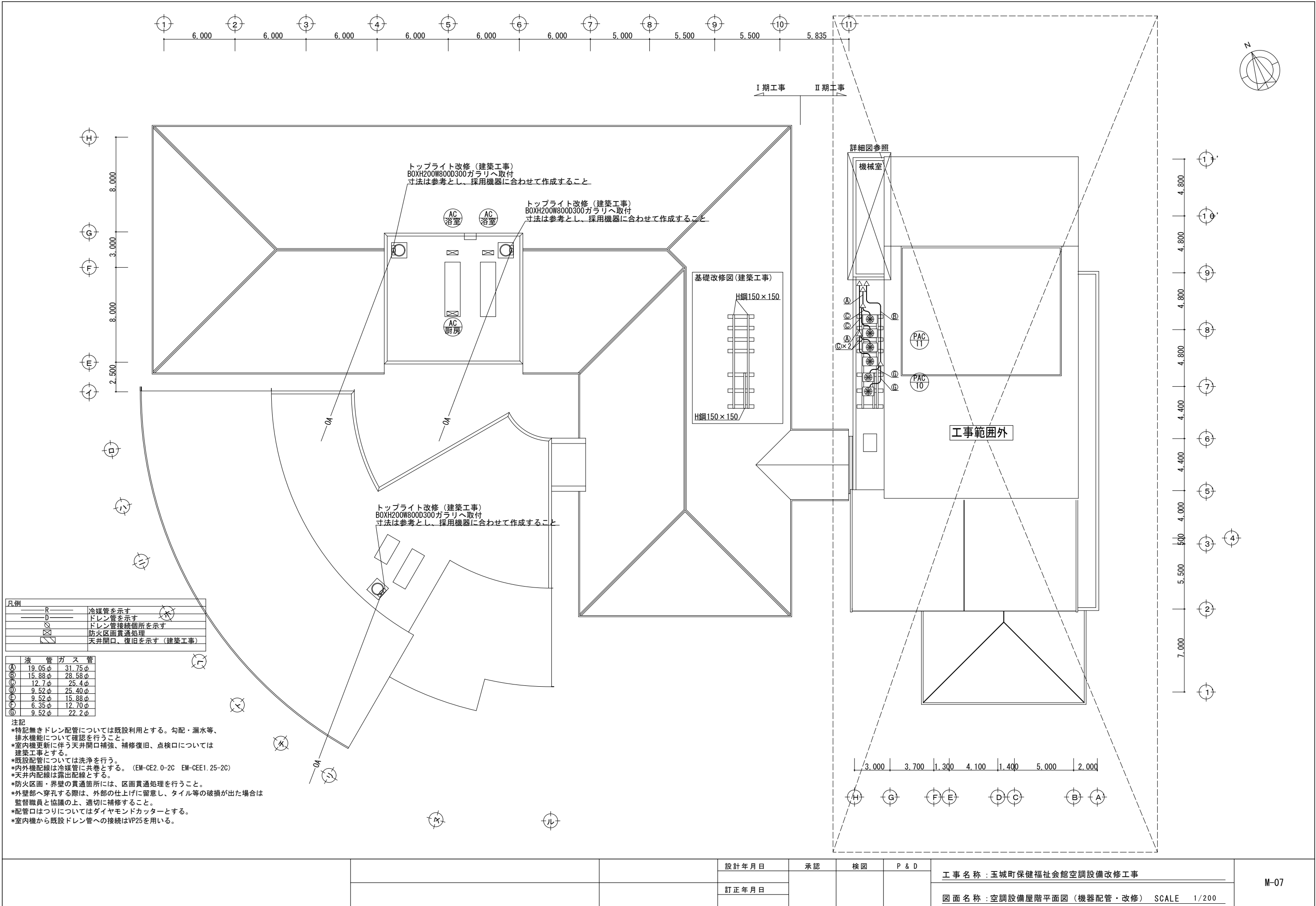
吹出口再取付	数量
特別浴室	1
社協デイサービス	2
社会福祉協議会	1
社会福祉協議会事務局	1

凡例	
R	冷媒管を示す
D	ドレン管を示す
○	ドレン管接続個所を示す
■	防火区画貫通処理
□	天井開口、復旧を示す（建築工事）

	液 管	ガ ス 管
Ⓐ	19.05φ	31.75φ
Ⓑ	15.88φ	28.58φ
Ⓒ	12.7φ	25.4φ
Ⓓ	9.52φ	25.40φ
Ⓔ	9.52φ	15.88φ
Ⓕ	6.35φ	12.70φ
Ⓖ	9.52φ	22.2φ

注記
*特記無きドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。
*室内機更新に伴う天井開口補強、補修復旧、点検口については建築工事とする。
*既設配管については洗浄を行う。
*内外機配線は冷媒管に共巻とする。（EM-CE2.0-2C EM-CEE1.25-2C）
*天井内配線は露出配線とする。
*防火区画・界壁の貫通箇所には、区画貫通処理を行うこと。
*外壁部へ穿孔する際は、外部の仕上げに留意し、タイル等の破損が出た場合は監督職員と協議の上、適切に補修すること。
*配管口はつりについてはダイヤモンドカッターとする。
*室内機から既設ドレン管への接続はVP25を用いる。

設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-06
訂正年月日				図 面 名 称 : 空調設備 1 階平面図（機器配管・改修） SCALE 1/200	



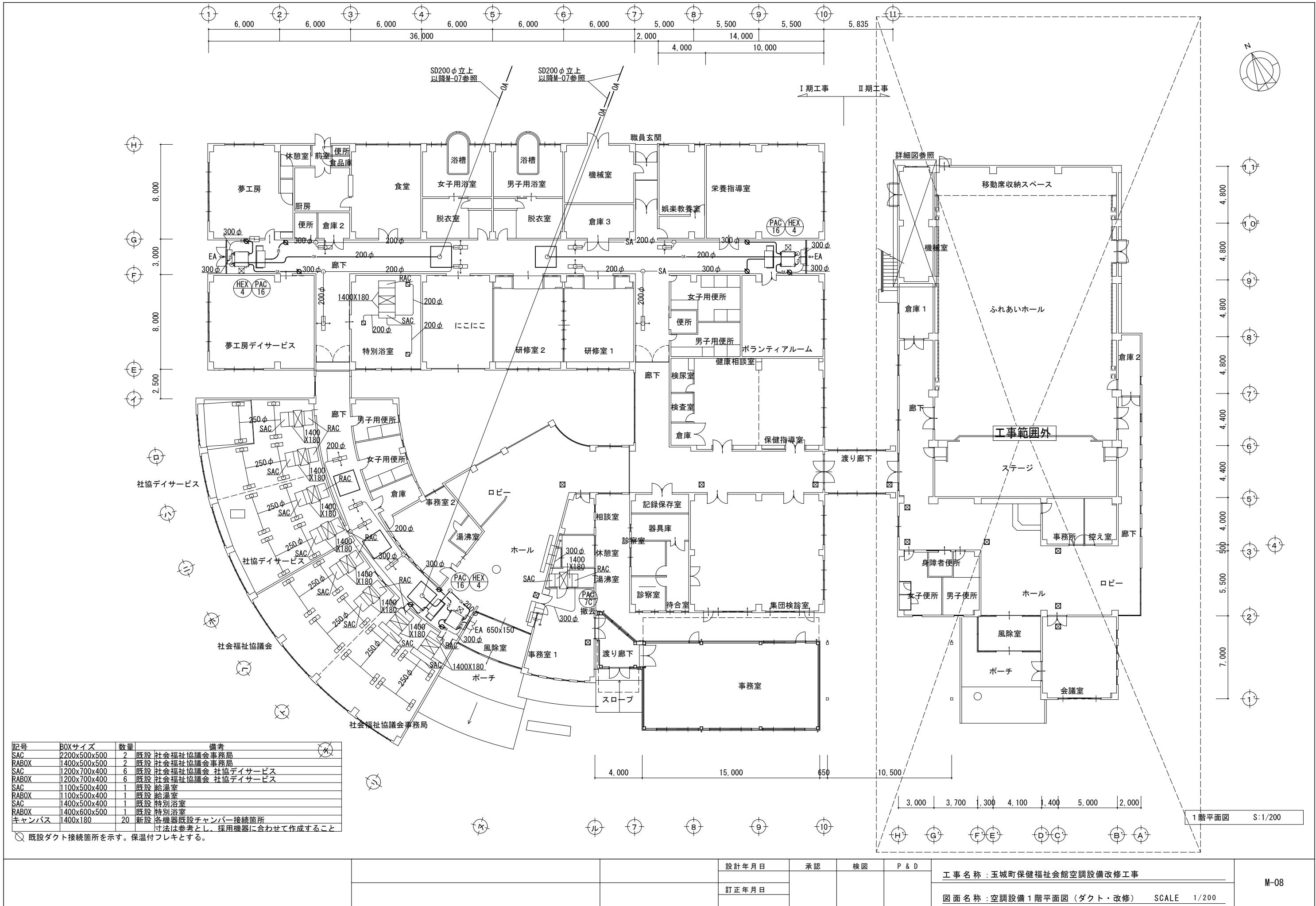
凡例	
R	冷媒管を示す
D	ドレン管を示す
⊗	ドレン管接続個所を示す
⊗	防火区画貫通処理
⊗	天井開口、復旧を示す (建築工事)

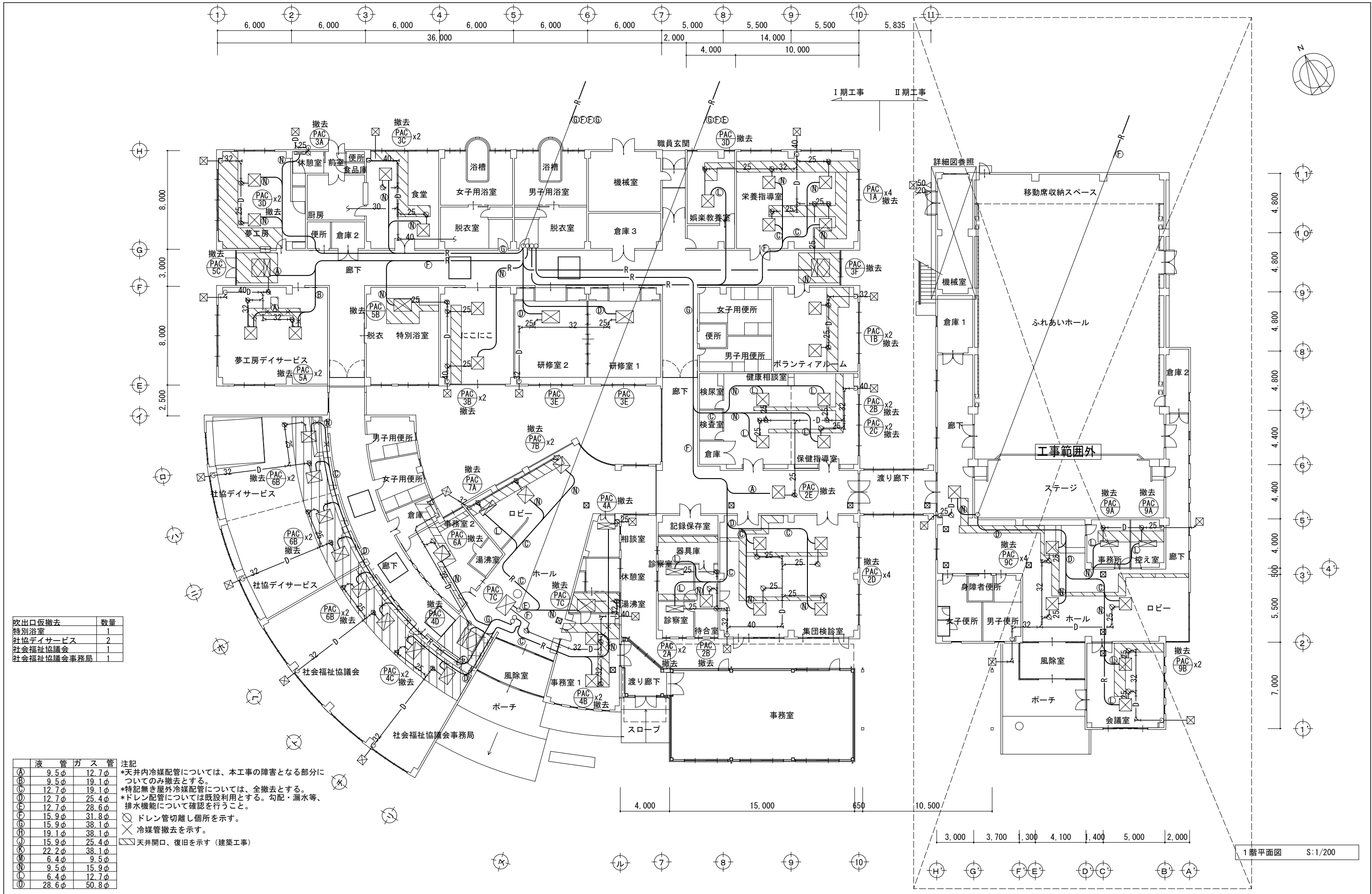
	液 管	ガ ス 管
Ⓐ	19.05φ	31.75φ
Ⓑ	15.88φ	28.58φ
Ⓒ	12.7φ	25.4φ
Ⓓ	9.52φ	25.40φ
Ⓔ	9.52φ	15.88φ
Ⓕ	6.35φ	12.70φ
Ⓖ	9.52φ	22.2φ

注記
*特記無きドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。
*室内機更新に伴う天井開口補強、補修復旧、点検口については建築工事とする。
*既設配管については洗浄を行う。
*内外機配線は冷媒管に共巻とする。(EM-CE2.0-2C EM-CEE1.25-2C)
*天井内配線は露出配線とする。
*防火区画・界壁の貫通箇所には、区画貫通処理を行うこと。
*外壁部へ穿孔する際は、外部の仕上げに留意し、タイル等の破損が出た場合は監督職員と協議の上、適切に補修すること。
*配管口はつりについてはダイヤモンドカッターとする。
*室内機から既設ドレン管への接続はVP25を用いる。

設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事
訂正年月日				図 面 名 称 : 空調設備屋階平面図 (機器配管・改修) SCALE 1/200

M-07

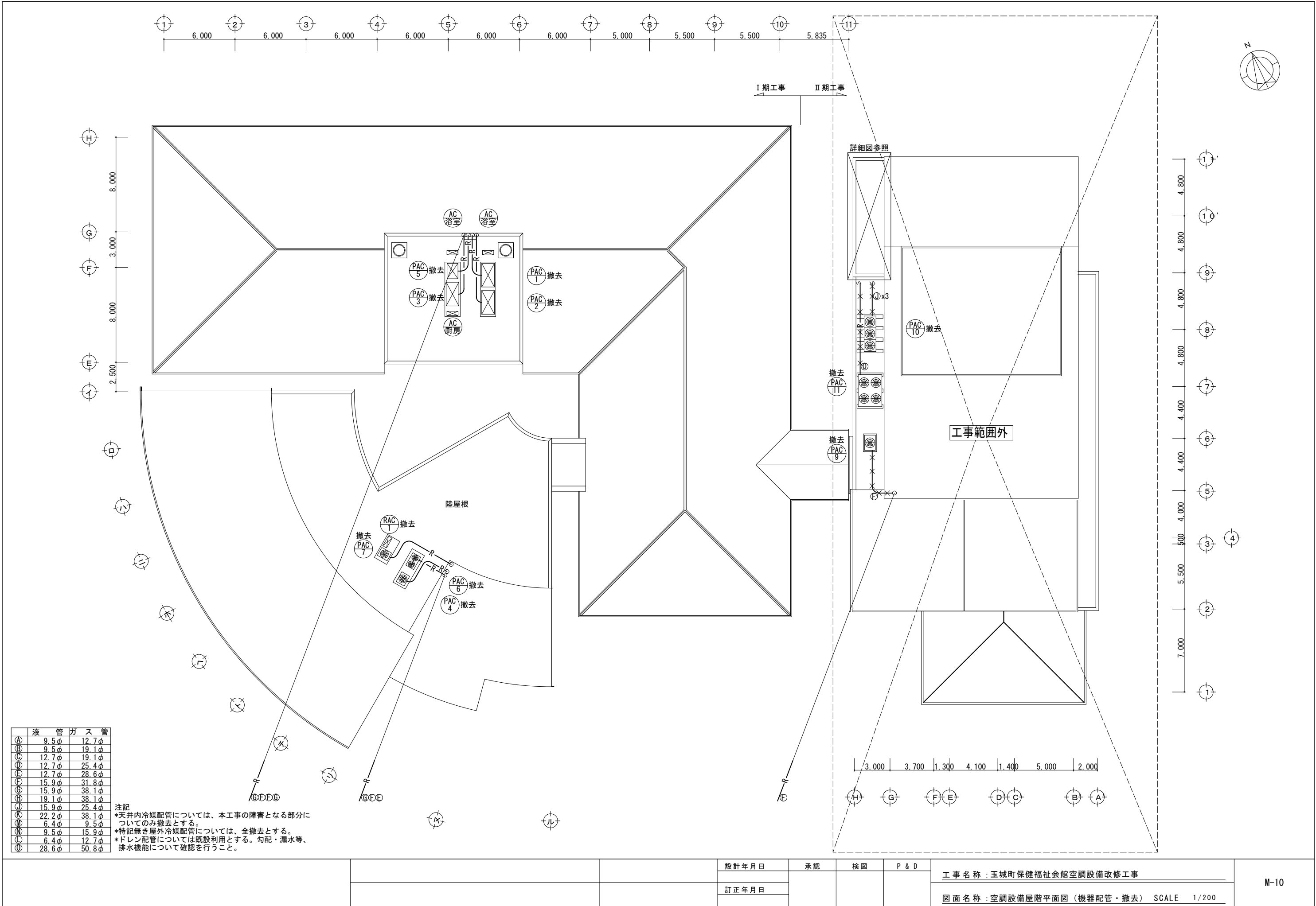




吹出口仮撤去	数量
特別浴室	1
社協デイサービス	2
社会福祉協議会	1
社会福祉協議会事務局	1

	液	管	ガ	ス	管	注記
㊦	9.5φ	12.7φ				*天井内冷媒配管については、本工事の障害となる部分についてのみ撤去とする。
㊧	9.5φ	19.1φ				*特記無き屋外冷媒配管については、全撤去とする。
㊨	12.7φ	19.1φ				*ドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。
㊩	12.7φ	25.4φ				
㊪	12.7φ	28.6φ				
㊫	15.9φ	31.8φ				○ ドレン管切離し個所を示す。
㊬	15.9φ	38.1φ				× 冷媒管撤去を示す。
㊭	19.1φ	38.1φ				□ 天井開口、復旧を示す（建築工事）
㊮	15.9φ	25.4φ				
㊯	22.2φ	38.1φ				
㊰	6.4φ	9.5φ				
㊱	9.5φ	15.9φ				
㊲	6.4φ	12.7φ				
㊳	28.6φ	50.8φ				

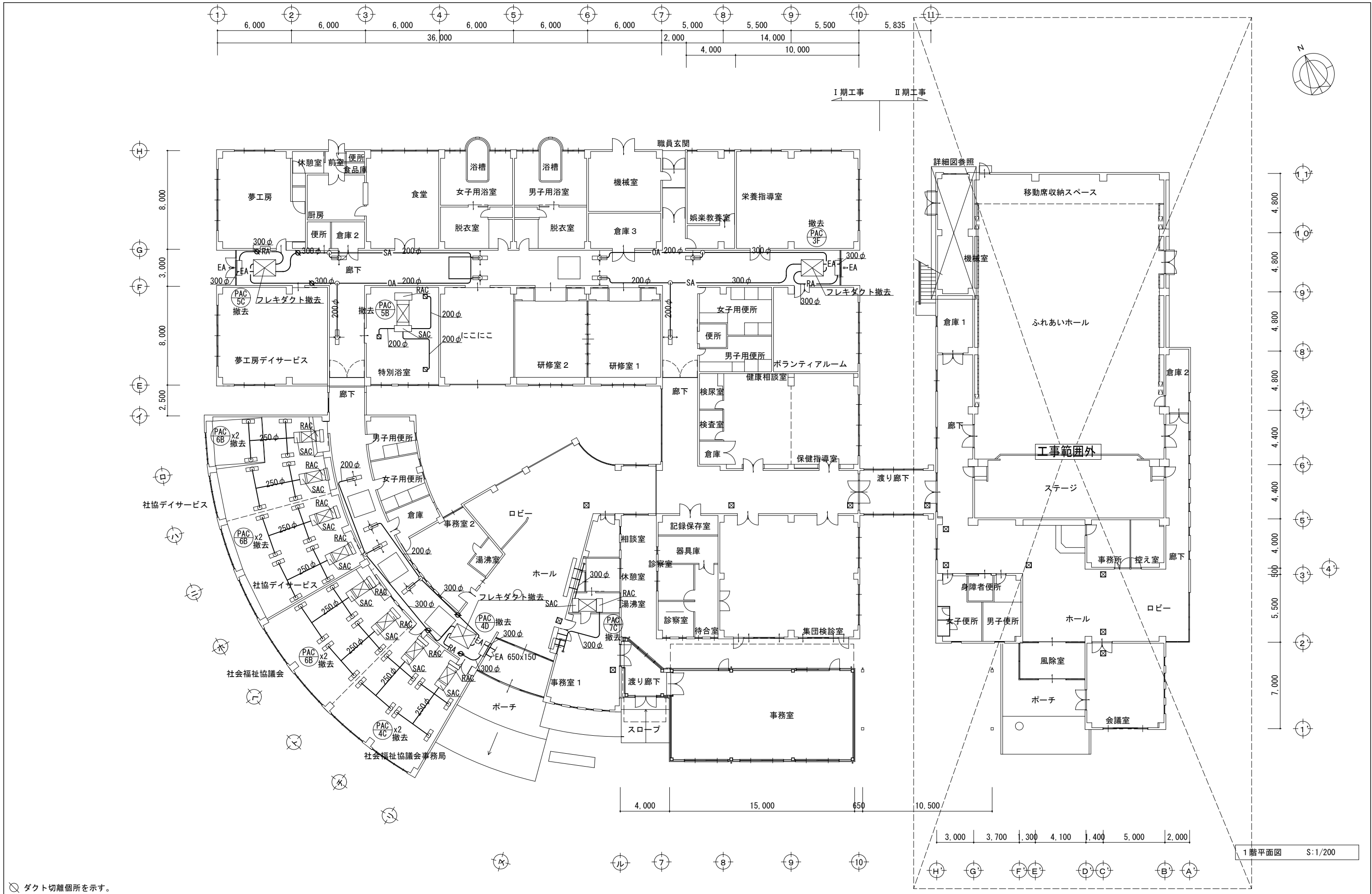
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-09
			訂正年月日				図面名称：空調設備1階平面図（機器配管・撤去） SCALE 1/200	



	液 管	ガ ス 管
㊶	9.5φ	12.7φ
㊷	9.5φ	19.1φ
㊸	12.7φ	19.1φ
㊹	12.7φ	25.4φ
㊺	12.7φ	28.6φ
㊻	15.9φ	31.8φ
㊼	15.9φ	38.1φ
㊽	19.1φ	38.1φ
㊾	15.9φ	25.4φ
㊿	22.2φ	38.1φ
㏀	6.4φ	9.5φ
㏁	9.5φ	15.9φ
㏂	6.4φ	12.7φ
㏃	28.6φ	50.8φ

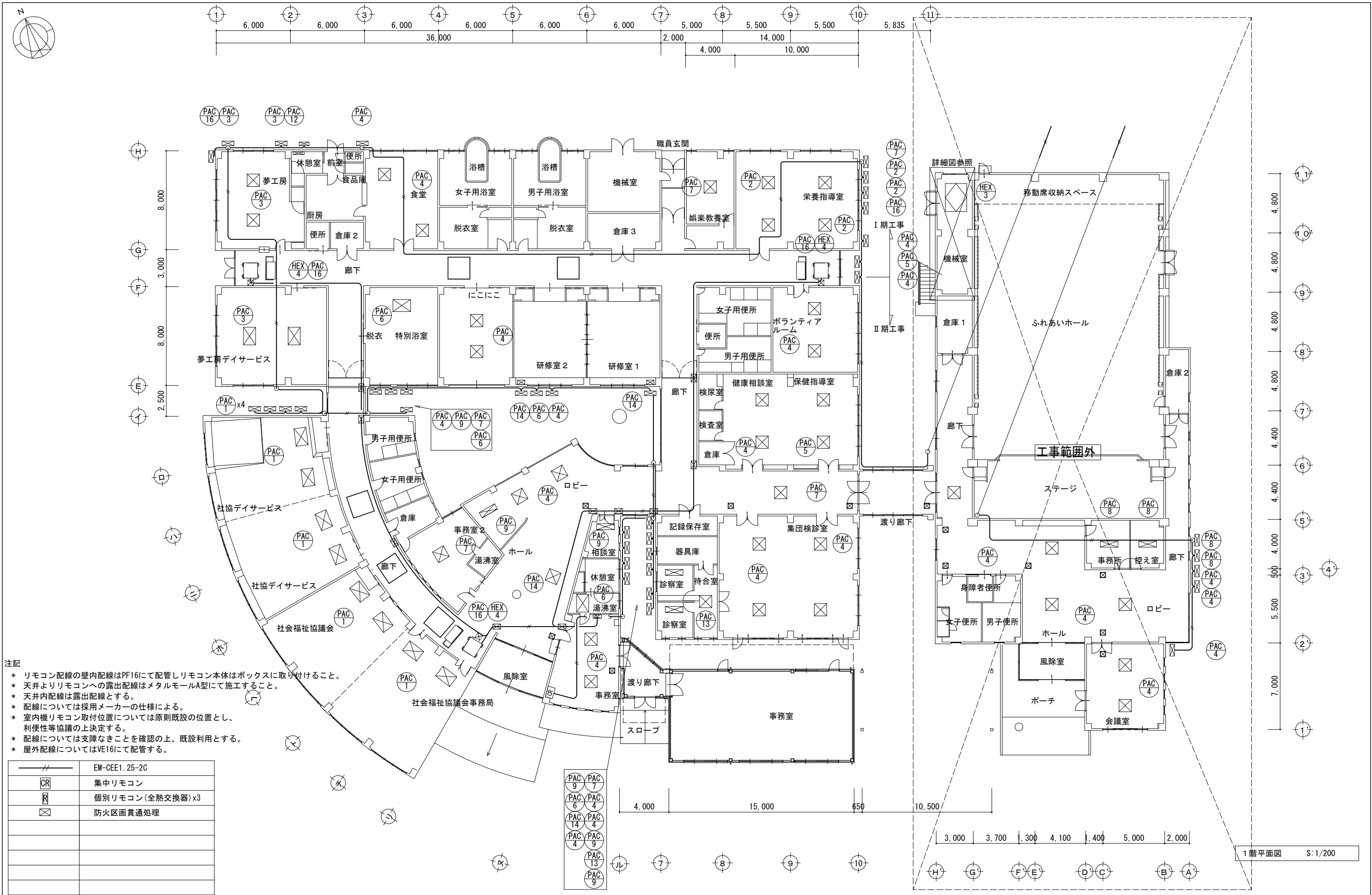
注記
*天井内冷媒配管については、本工事の障害となる部分についてのみ撤去とする。
*特記無き屋外冷媒配管については、全撤去とする。
*ドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。

設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-10
訂正年月日				図 面 名 称 : 空調設備屋階平面図 (機器配管・撤去) SCALE 1/200	



ダクト切離個所を示す。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-11
			訂正年月日				図面名称：空調設備 1 階平面図（ダクト・撤去）	
							SCALE 1/200	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町保健福祉会館空調設備改修工事	M-12
			訂正年月日				図 面 名 称 : 空調設備 1 階平面図 (計装配線) SCALE 1/200	